

TOSHIBA

Leading Innovation >>>

REGZA

レグザブルーレイ

東芝ブルーレイディスクレコーダー取扱説明書

形名 **DBR-Z420**
DBR-Z410



お客様登録サービス「Room1048」に登録をお願いします！

Room1048は東芝デジタル商品のお客様登録サービス*です。
ご登録いただくと、さまざまなサービスやサポートが受けられます。

※ お客様登録は、Web 限定のサービスです。

>>> ご登録はこちらから！ <<<

<http://toshibadirect.jp/room1048/>

キャンペーン情報も
こちらをご覧ください。

- 電源を「入」にしたとき
電源を入れたあと、画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- 本機の操作で「わからない」「困った！」そんなときは…
「困ったときは」(操118頁、「総合さくいん・用語解説」(操133頁)をご覧ください。
- 必ず最初に本書の「安全上のご注意」(6頁～9頁)をご覧ください。
本書では「安全上のご注意」「接続」「設定」などについて説明しています。
- このたびは東芝ブルーレイディスクレコーダーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのブルーレイディスクレコーダーを正しく使っていただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとはいつも手元においてご使用ください。

準備編

接続	はじめに	2
と設定	レコーダーを準備する	10
定	はじめでの設定	24
	その他の設定	38
	ご注意と参考資料	56

はじめに 2

接続する前に	3
本書で使用するマークの意味	3
付属品の確認	4
各部のなまえ・背面と入出力端子	5
安全上のご注意	6

レコーダーを準備する 10

テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ	10
BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ	18
CATVチューナーをつなぐ	20
映像・音声接続コードを使って、本機とテレビをつなぐ	21
リモコンを設定する	22
本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する	22
本機のリモコンが他のレコーダー（またはレグザサーバー）機器を操作しないようにする	23

はじめでの設定 24

はじめでの設定をする	24
【はじめでの設定】を開始する	24
【はじめでの設定】をやり直す	31
放送関連の設定を変える（放送受信設定）	32
【放送受信設定】を使う	32
【放送受信設定】の項目と設定内容	32
チャンネルの設定を変更する	34
リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる	34
チャンネルをスキップする	34
映りが悪いチャンネルを調整する	35
地上デジタル放送のアンテナを調整する	35
BS・110度CSデジタル放送のアンテナを調整する	36
地域設定を変更する	37
視聴可能年齢を設定する	37

その他の設定 38

USB-HDDを接続・設定する	38
USB-HDD（外付けHDD）をつなぐ前に	38
USB-HDDをつなぐ	39
USB-HDDを登録する	40
AVアンプとつなぐ	41
HDMIケーブルを使って接続する	41
ネットワークを接続・設定する	42
LANケーブルを使って接続する	42
無線LANアダプター（別売）を使って接続する	43
ネットワーク接続設定	46
ネットdeナビ/レグザリンク連携設定	50
レグザAppsコネクト設定	52
ネットdeナビを設定する	52
レグザリンク機能について	54
レグザリンク・コントローラとは？	54
レグザリンクダビングとは？	54
ソフトウェアの更新について	55
デジタル放送電波を使って更新する	55
サーバーを使って更新する	55

ご注意と参考資料 56

使用上のお願い	56
参考資料	62
アスペクト比（画面比）について	62
本機で使われるソフトウェアのライセンス情報	63
商品の保証とアフターサービス	73

接続する前に

- 本書の操作説明は、リモコンでの操作を中心に説明しています。
- 「本機」とは「お使いのレコーダー」のことを、「他機」とは「本機以外の機器」のことを表します。
- 本書で例として記載している各画面の内容やキーワードなどは説明用です。
- 特にデジタル放送に関連した部分で、専門的な用語が使われている場合があります。それらの用語については「総合さくいん・用語解説」(操133)をご覧ください。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際には、本機背面の製造番号と保証書の製造番号が一致しているかご確認ください。

本書で使用するマークの意味



機能などの補足説明、参考にしていただきたいこと、制限事項などを記載しています。



取扱上のご注意を記載しています。



関連する内容が記載されている本書のページ番号を記載しています。

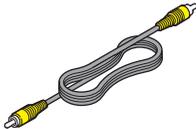
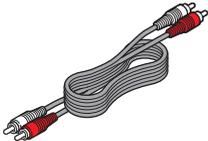


関連する内容が記載されている操作編のページ番号を記載しています。

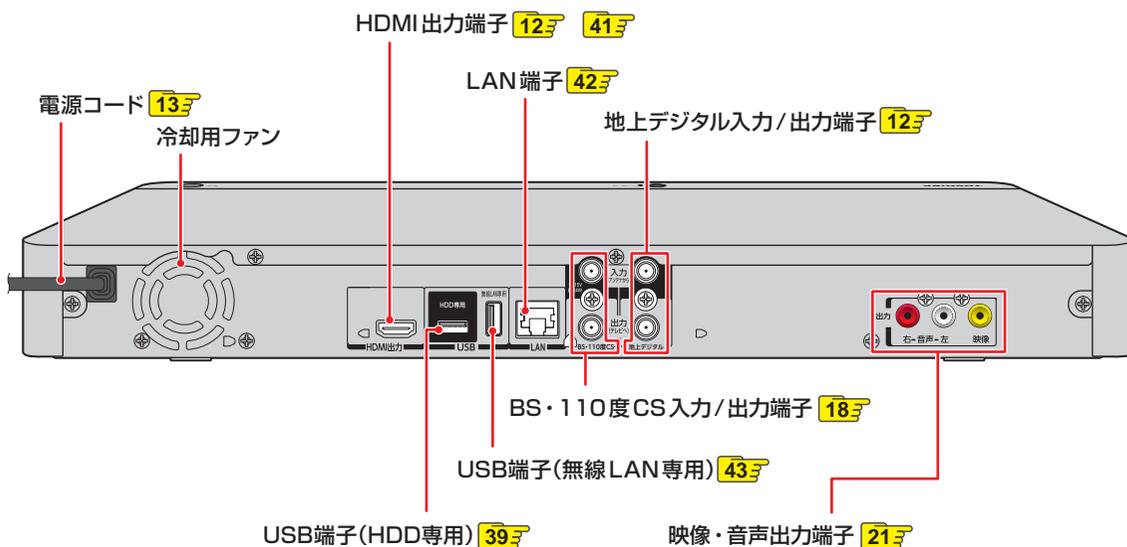
接続する前に・つづき

付属品の確認

□の中に、チェックマーク(✓)を付けてご確認ください。欠品があるときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

<input type="checkbox"/> リモコン(SE-R0435) /1個 	<input type="checkbox"/> 単四形乾電池(R03) /2本 ※動作確認用 	<input type="checkbox"/> miniB-CASカード/1枚 (台紙に貼り付けてあります) BS・110度CS/地上デジタル共用 
<input type="checkbox"/> 映像接続コード/1本 	<input type="checkbox"/> 音声接続コード/1本 	<input type="checkbox"/> 同軸ケーブル(0.9m) /1本 
<input type="checkbox"/> 取扱説明書 準備編(本書) / 1冊	<input type="checkbox"/> 取扱説明書 操作編/ 1冊	<input type="checkbox"/> かんたんガイド/ 1冊
<input type="checkbox"/> BS・110度CSデジタル放送受信契約申込書一式		

各部のなまえ・背面と入出力端子



映像・音声出力端子 21

赤と白の端子は、音声出力端子「右」「左」です。アナログ音声信号を出力します。

※ 著作権保護技術の制限により、コンテンツによっては映像出力端子から再生画が出力されない場合があります。

再生画をご覧になりたい場合は、本機とテレビをHDMIケーブルで接続してください。

著作権保護技術の制限に関連し、ソフトウェアの更新により制限内容が更新される場合があります。

ご注意

- 本機内部の放熱をよくするために、背面の冷却用ファンと壁やテレビ台などの周辺物との間は、10cm以上空けてください。

お知らせ

- 背面の冷却用ファンは、本機の電源が「入」、【瞬速起動】設定時間帯、録画予約時間帯および、番組データ受信時に常時回ります。

安全上のご注意

製品本体および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■ 表示の説明

表示	表示の意味
 警告	「取扱いを誤った場合、人が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること」を示します。
 注意	「取扱いを誤った場合、人が軽傷(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること」を示します。

*1：重傷とは、失明やけが、やけど(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■ 図記号の例

図記号	図記号の意味
 禁止	「  」は、 禁止 (してはいけないこと)を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 指示	「  」は、 指示 する行為の強制(必ずすること)を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
 注意	「  」は、 注意 を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。



警告

異常や故障のとき

次のときは、直ちに電源プラグを抜く

- ・ 煙が出ていたり、変なにおいがしたりするとき
- ・ 内部に水や異物がはいったとき
- ・ 落としたり、キャビネットを破損したとき
- ・ 電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたとき

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙・発熱などが治まったのを確認後、お買い上げの販売店にご連絡のうえ、点検・修理・交換をご依頼ください。また、キャビネットが破損したまま取り扱うと、けがのおそれがあります。



プラグを抜く

設置するとき

<p>電源プラグは交流100Vのコンセントに接続する</p> <p>交流100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。</p>  <p>指示</p>	<p>本機はコンセントから電源プラグが抜きやすいように設置する</p> <p>万一の異常や故障のとき、または長期間使用しないときなどに役立ちます。</p>  <p>指示</p>
<p>ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かない</p> <p>本機が落ちて、けがの原因となります。</p>  <p>禁止</p>	<p>屋外や風呂、シャワー室など、水のかかるおそれのある場所には置かない</p> <p>火災・感電の原因となります。</p>  <p>風呂、シャワー室での使用禁止</p>
<p>上にものを置かない</p> <p>金属類や、花瓶・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。</p>  <p>上載せ禁止</p>	

警告

使用するとき

<p>電源コードは</p> <ul style="list-style-type: none"> 傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしない 引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない 無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない <p>火災・感電の原因となります。</p>  <p>禁止</p>	<p>可燃性ガスエアゾールやスプレーを使用しない</p> <p>清掃や可動部の潤滑用など、可燃性ガスを本機に使用すると、噴射される可燃性ガスが本機の内部に留まり、モーターやスイッチの接点や静電気の火花が引火して、爆発や火災が発生するおそれがあります。</p>  <p>禁止</p>
<p>雷が鳴りだしたら、本機、接続機器やコード類に触れない</p> <p>感電の原因となります。</p>  <p>接触禁止</p>	<p>修理・改造・分解はしない</p> <p>火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。</p>  <p>分解禁止</p>
<p>電池は乳幼児の手の届かない所に置いてください。</p> <p>誤って飲み込むと窒息などの原因となります。 万一、電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。</p>  <p>指示</p>	<p>ディスクトレイなどから異物を入れない</p> <p>金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様がいるときにはご注意ください。</p>  <p>異物挿入禁止</p>
<p>miniB-CASカードを取りはずしておく場合は、乳幼児の手の届かないところに保管する</p> <p>誤って飲み込むと窒息のおそれがあります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。</p>  <p>指示</p>	<p>ディスクトレイ開閉口の前にものを置かない</p> <p>ディスクトレイが開いた時に、ものに当たって倒れたり破損してけがの原因となります。</p>  <p>禁止</p>

お手入れ

<p>ときどき電源プラグを抜いて点検し、プラグやプラグの取付面にゴミやほこりが付着している場合はきれいに掃除する</p> <p>電源プラグの絶縁低下によって、火災・感電の原因となります。 また、接触不良による故障の原因となります。 (電源プラグは待機状態のときに抜いてください。)</p>  <p>指示</p>

安全上のご注意・つづき

⚠ 注意

設置するとき

<p>風通しの悪い場所に置かない 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 壁に押しつけないでください。 押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 じゅうたんや布団の上に置かないでください。 あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。  禁止	<p>湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。</p>  禁止
<p>温度の高い場所に置かない 直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また、破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。</p>  禁止	<p>背面の内部冷却用ファンおよび通風孔をふさがない 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。これら通風孔とラックとの間は10cm以上離してください。</p>  禁止
<p>本機に接続するケーブルは正しく接続する 正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。</p>  指示	<p>高い場所に設置しない 本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。</p>  禁止

使用するとき

<p>移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線ははずす 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがあり、接続線などをはずさずに運ぶと、ひっかかるなどして、けがの原因となることがあります。</p>  指示	<p>電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。電源プラグを持って抜いてください。</p>  引っ張り禁止
<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない 感電の原因となることがあります。</p>  めれ手禁止	<p>旅行などで長期間不在の場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。</p>  プラグを抜け
<p>電源を入れる前には音量を最小にする 電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。</p>  指示	<p>テレビやオーディオシステムの音量を上げすぎない 音量を上げすぎると、耳への刺激で聴覚機能に悪い影響を与えたり、ご近所の迷惑になります。特に夜間は、日中よりも音量を下げるようにしてください。</p>  禁止
<p>ディスクトレイに、手を入れない 指をはさみ、けがの原因となることがあります。特にお子様がいらっしゃる場合にはご注意ください。</p>  禁止	<p>ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。</p>  禁止
<p>リモコンに使用している乾電池は、</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定以外の乾電池は使用しない 極性[(+)と(-)]を間違えて挿入しない 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない 乾電池に表示されている[使用推奨期限]を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない <p>これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目にはいったときは、すぐにきれいな水で洗い眼科医の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。</p>  禁止	

⚠ 注意

本機で3D映像を楽しむときには、以下の注意事項をお守りください。
3D映像視聴の際には、3D対応テレビ(ディスプレイ)および3D対応メガネの取扱説明書などに記載の説明事項・注意事項も十分ご確認ください。これらの事項を守って視聴してください。

3D映像を見るとき

<p>てんかんの可能性がある人、光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調の悪い人は3D映像を見ない</p> <p>症状悪化の原因となることがあります。</p> <p> 禁止</p>	<p>近視の人、遠視の人、左右の視力が異なる人、乱視の人は、視力矯正メガネなどを着用し視力を矯正したうえで3Dメガネを着用する</p> <p>視力を矯正しないで3D映像を見ると、目の疲れや、視力がより低下する原因となることがあります。</p> <p> 指示</p>
<p>画面(映像)から適正な距離で視聴する</p> <p>近づいて視聴すると、目の疲れや視力低下の原因となることがあります。使用するテレビ(ディスプレイ)の取扱説明書などで推奨される距離で視聴するようにしてください。</p> <p> 指示</p>	<p>長時間の視聴は避け、適度に休憩をとる</p> <p>長時間の視聴は目の疲れの原因となることがあります。</p> <p> 指示</p>
<p>3D映像を見ているときに、感覚に異常を感じたり、疲れを感じたり、気分が悪くなったりしたときは、見るのをやめる</p> <p>そのまま見続けると体調不良の原因となることがあります。</p> <p> 指示</p>	<p>3D映像が二重の映像に見えたり、立体感が得られなかったりしたら見るのをやめる</p> <p>そのまま見続けると目の疲れの原因となることがあります。</p> <p> 指示</p>
<p>3D映像の視聴年齢は6歳以上を目安にする</p> <p>お子様が3D映像を視聴する場合は、保護者の方の管理のもとに、視聴の可否判断や時間制限などをしてください。</p> <p> 指示</p>	<p>周囲の人や物に注意する</p> <p>3D映像で距離感を誤って手を伸ばしたり、3D映像を実際の物と間違えて急に身体を動かしたりすると、周囲の人にけがをさせたり、周囲の物を壊してけがをしたりする原因となることがあります。周囲に壊れやすいものを置かないようにしてください。</p> <p> 注意</p>



- 「安全上のご注意」をお読みになったあとは、56ページの「使用上のお願い」も同様に、必ずお読みください。

テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ

ご自宅のアンテナやチューナーに合わせて接続してください。

地上デジタル放送を利用する

手順 **1** ~ **8** **12** ~ **13**を行ってください。

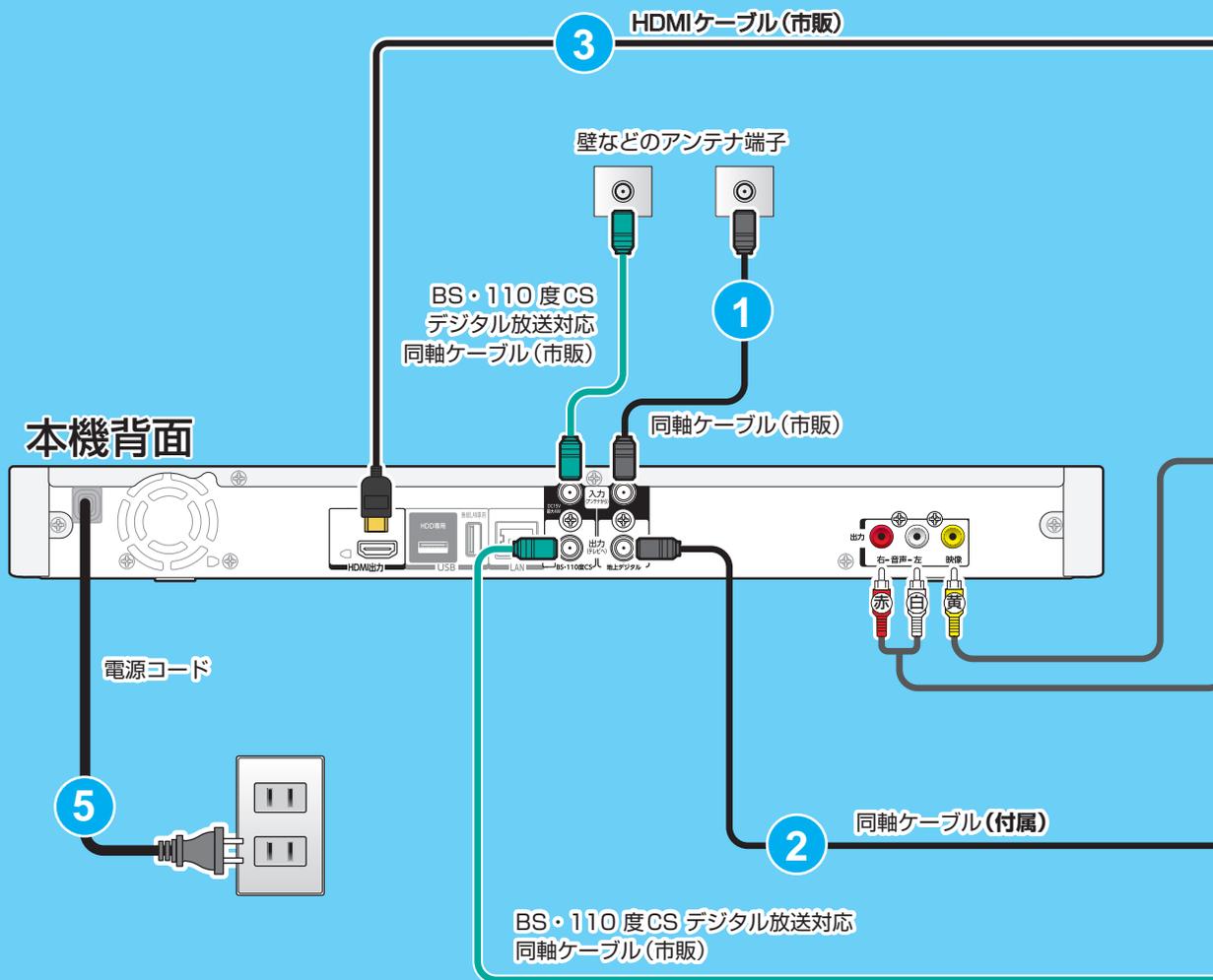
BS・110度CSデジタル放送を利用する

「BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ」

18の接続をしてから、手順 **3** ~ **8** **12** ~ **13**を行ってください。

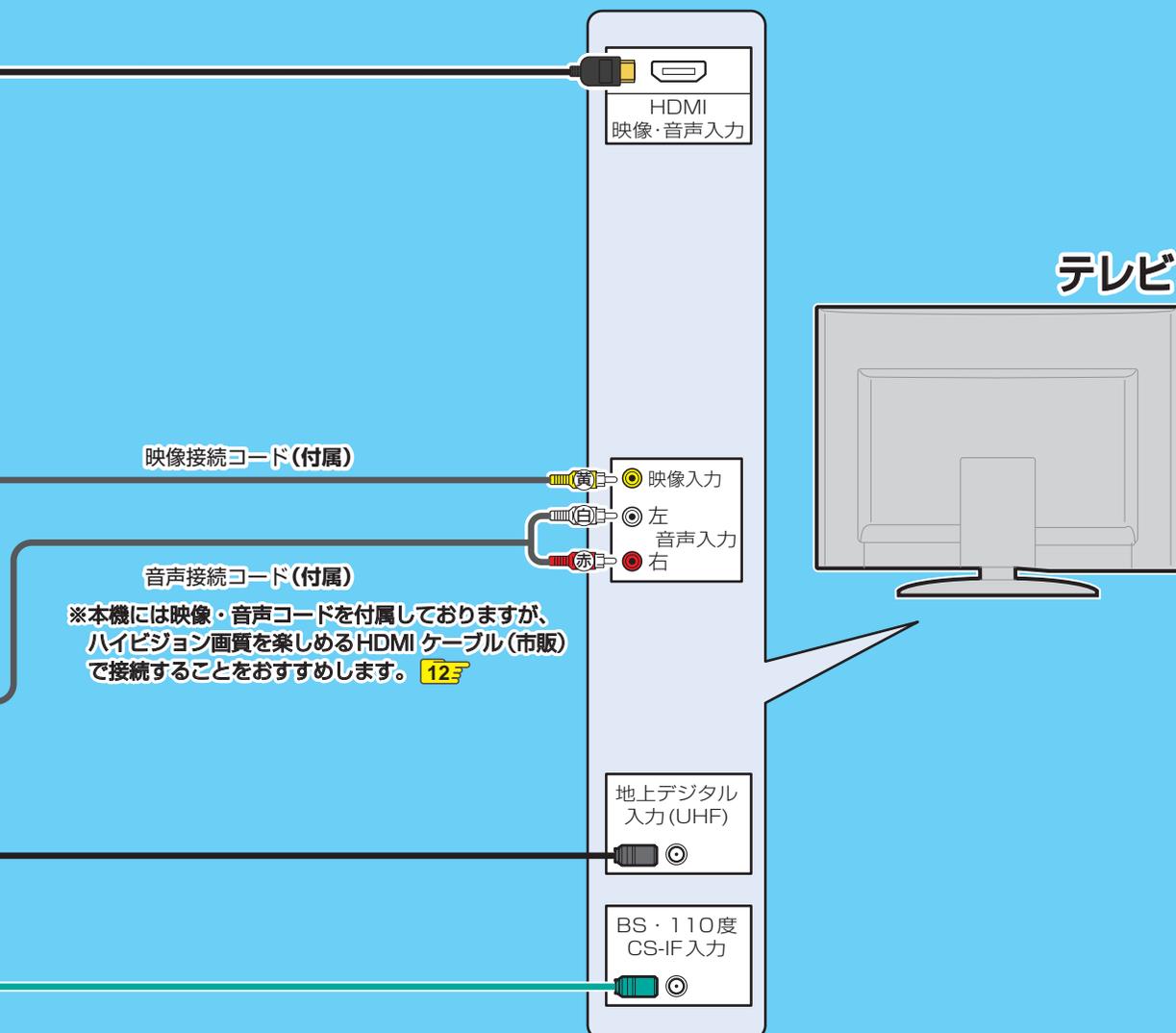
接続と設定

レコーダーを準備する



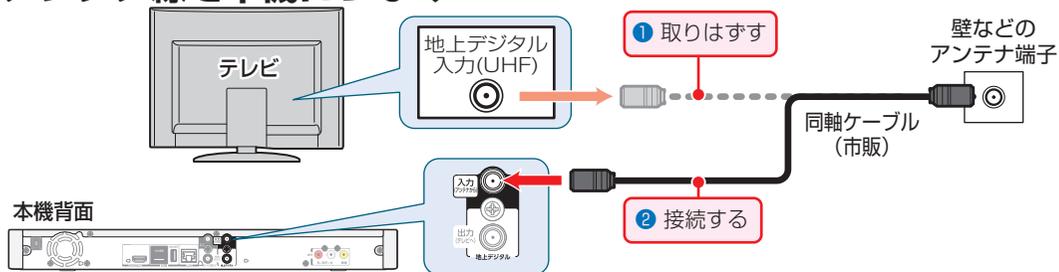
CATV (ケーブルテレビ)を利用する

「CATVチューナーをつなぐ」**20**の接続をしてから、手順 **3** ~ **8** **12** ~ **13**を行ってください。

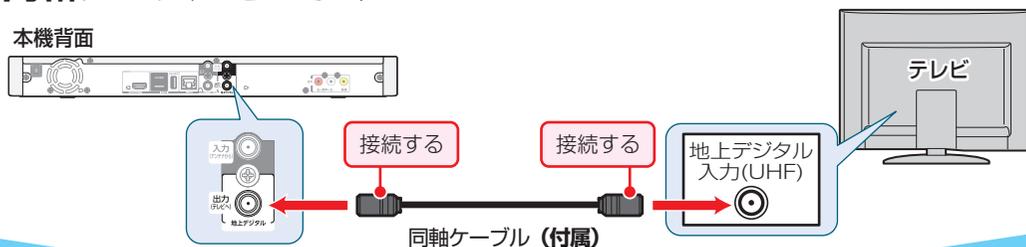


テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つぎ

1 アンテナ線を本機につなぐ



2 同軸ケーブルをつなぐ

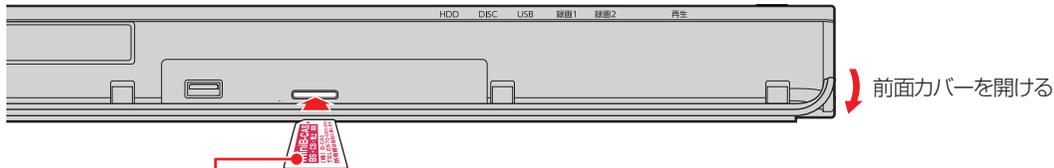


3 HDMIケーブルをつなぐ

- HDMIロゴのあるHDMIハイスピードケーブル(市販)をお使いください。
HDMIケーブルがないときは、付属の映像・音声接続コードで接続してください。21F



4 miniB-CASカードを入れる



赤色面を上に向け、★マークのある側からminiB-CASカード挿入口にまっすぐ差し込み
※「カチッ」と音がするまで奥へしっかりと差し込んでください。

5 電源プラグを差し込む

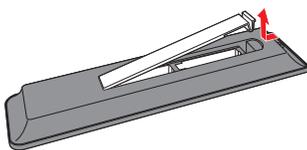


- 電源プラグを交流(AC) 100V の電源コンセントに差し込むと、本機が通電状態になります。(本機の電源ランプが点滅します。)
- 電源ランプの点滅中は、本機の操作はできません。電源ランプが消えると、本機の操作ができるようになります。

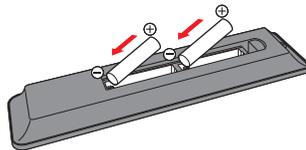
6 リモコンに乾電池を入れる

- 乾電池はマンガン乾電池または、アルカリ乾電池の単四の乾電池 (1.5V 2個) をお使いください。

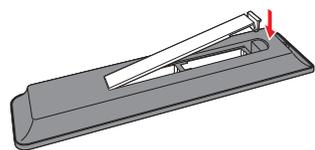
① リモコン裏面のふたをははずす



② ⊖側を入れたあと、⊕側を入れる



③ 裏面のふたを取り付ける

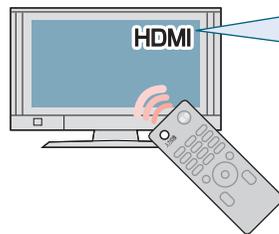


7 テレビの入力を切り換える

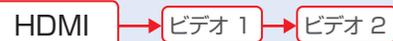
① 電源を入れる



② 外部入力に切り換える

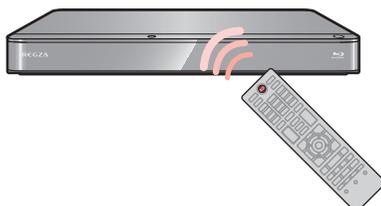


本機とテレビをHDMIケーブルで接続しているときは…



テレビのリモコンの「入力切替」ボタンを繰り返し押して、画面に【HDMI】を表示させます。

8 本機の電源を入れる



- 電源が入ると、本機前面の電源ランプ(橙)が点滅し、使用可能になると電源ランプ(緑)が点灯します。(画面が表示されるまでに少し時間がかかりますが、そのままお待ちください。)
- 【はじめての設定】画面が表示されたときは「はじめての設定をする」**24**をご覧ください。

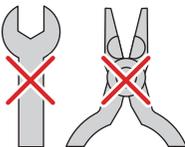
テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

アンテナ・同軸ケーブルについて

- デジタル放送用のアンテナやケーブル、プラグは、デジタル放送対応のものをお使いください。
アンテナ線の加工が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- BS・110度CSアンテナは電源の供給を必要とします。本機はBS・110度CSデジタル放送用アンテナに電源を供給できます。詳しくは「BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ」[18](#)をご覧ください。
- BS・110度CSアンテナは、方向や角度がわずかでもずれると放送が映りません。調整のしかたは、アンテナの取扱説明書をご覧ください。
- 平行フィーダー線は、受信障害の原因となることがあるので、使用しないでください。



- 同軸ケーブルがF型コネクタタイプの場合は、本機につなぐときに工具を使って強く締めつけないでください。
工具などで締めつけすぎると、壁のアンテナ端子、本機の地上デジタル入力/出力端子やBS・CS110度入力/出力端子などが破損するおそれがあります。



映像・音声接続コードについて

- 映像・音声接続コードでつなぐと、標準的な画質と音質をお楽しみいただけます。ハイビジョン映像をお楽しみいただくには、本機をHDMIケーブルでハイビジョン対応テレビに接続してください。
- 映像・音声接続コードでつなぐ場合は、本機とテレビを直接つないでください。
- 映像・音声接続コードを使って、本機からの映像を他機などを通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。

電源プラグについて

- 本機の電源プラグを電源コンセントから抜くと、テレビの映りが悪くなる場合があります。
その場合は、本機の電源プラグを常に電源コンセントに差し込んで(通電状態にして)おいてください。
- 本機の動作中は電源プラグを抜き差ししないでください。正常に録画できなかつたり、ディスクが使用できなくなったりするおそれがあります。

HDMIケーブルについて

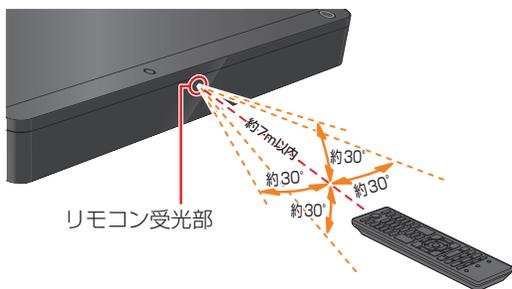
- 映像・音声信号をケーブル1本でつなぐことができ、高画質・高音質な再生が楽しめます。
また、ハイビジョン対応テレビと接続すると、デジタル放送のHD放送をハイビジョン画質で楽しむことができます。
- 当社製のレグザリンク対応テレビと接続すると、レグザリンク機能が使えます。[54](#)
- HDMIケーブルは、HDMI規格に準拠したHDMIロゴのあるハイスピードHDMIケーブル(市販)をご使用ください。
- HDMIケーブルは、プラグの大きさや形状によって接続できないことがあります。
- 本機のHDMI出力端子は、DVI入力端子付きディスプレイモニターやDVI-HDMIケーブルには対応していません。HDMI入力端子付きディスプレイモニターの場合は、HDMI規格に準拠していれば利用できます。

リモコンについて

- 乾電池が完全に入らない状態で使うと、乾電池が発熱し、やけどや故障の原因となることがあります。
- 次のような場合は、乾電池が消耗しています。すべての乾電池を新しいものに交換してください。
 - ・ リモコンの使用距離が短くなってきたときや、一部のボタンを押しても動作しなくなってきたとき。
 - ・ リモコンモードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(【RC1】、「東芝A」)に戻ってしまうとき。
- 付属の乾電池は動作確認用です。早めに新しい乾電池と交換することをおすすめします。
- オキシライド乾電池(ZR6)、エボルタ乾電池(LR6)などは、リモコン誤動作の原因となりますので、使用しないでください。
- リモコンの乾電池を交換するとリモコンモードやテレビメーカーの設定がお買い上げ時の設定(【RC1】、「東芝A」)に戻ることがあります。この場合は、もう一度設定してください。**22P**、**23P**
- 長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出してから保管してください。
- 不要となった乾電池は、お住まいの地域の条例に従って処理してください。

リモコンの使用範囲について

リモコンは、本機のリモコン受光部に向けて使用してください。



距離… 本機正面より 7m以内

角度… 本機正面より 左右 約30°以内(5m以内)

上 約30°以内(5m以内)

下 約30°以内(5m以内)

- リモコン受光部に強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。

リモコンの取扱い

- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置いたりしないでください。



- 本機のリモコンと液晶シャッター方式の3Dメガネは、どちらも赤外線信号を使用します。本機のリモコン受光部とテレビの3Dメガネ用赤外線発信部が近いと、誤動作を起こすことがありますので、なるべく離して設置してください。

テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

miniB-CASカードについて

本機でデジタル放送を見るためには、miniB-CASカード(付属)が必要です。デジタル放送をご覧にならない場合でも、紛失防止のためにminiB-CASカードを入れておくことをおすすめします。

- 本機に同梱されているminiB-CASカードは、本機以外で使用しないでください。

本機には1枚のminiB-CASカードが同梱されています。

miniB-CASカードの取扱い

- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 重いものをのせたり、踏みつけたりしないでください。
- 金色の端子部分には、手を触れないでください。
- 分解・加工をしないでください。

ご注意

- 本機のminiB-CASカード挿入口に付属のminiB-CASカード以外のものを入れないでください。故障や破損の原因になります。
- 本機を使用中はminiB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。
- miniB-CASカードの抜き差しは、必ず本機の電源を切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。
- 付属のminiB-CASカードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与されたたいせつなカードです。破損や紛失などの場合は、直ちにB-CAS「(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

お知らせ

- 付属のminiB-CASカードの台紙に記載されている文面をよくお読みください。
- miniB-CASカードに個人情報が書き込まれることはありません。
- miniB-CASカードについてのお問い合わせ
(2013年9月現在)
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズカスタマーセンター
TEL 0570-000-250
(IP電話からの場合は045-680-2868)
受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)
<http://www.b-cas.co.jp/>

有料放送をご契約の準備をする

- 有料放送をご契約するときは、miniB-CASカードのID番号が必要になります。
- お手持ちの機器に付属のB-CASカードでBS・110度CSデジタルの有料放送を契約済みの場合、有料放送の契約を本機に付属のminiB-CASカード裏面に記載のID番号に変更してください。

1 本機とBS・110度CS対応アンテナを接続する

- 詳しくは、**18**をご覧ください。

2 本機にminiB-CASカードを挿入する

- 詳しくは、**12**をご覧ください。

3 miniB-CASカードのID番号を確認する

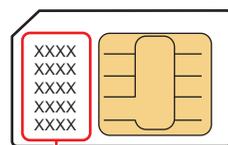
設定メニューから確認するときは

- 1 **設定** を押し、▲・▼・◀・▶と**決定**で → **放送受信設定** → **共通設定** → **B-CASカード番号表示**の順番に選ぶ

miniB-CASカード裏面から確認するには

本機からminiB-CASカードを取りはずし、miniB-CASカード裏面に記載されているID番号をご確認ください。

miniB-CAS カード



カード ID 番号

4 有料放送事業者と契約する

- 有料放送事業者によって、契約方法が異なります。詳しくは、右ページをご覧ください。

5 契約が完了したことを確認する

- 1 有料放送チャンネルを選び、映像と音声为正しく出力されているかご確認ください。

WOWOW

① 以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- お電話から → WOWOWカスタマーセンター
0120-816-440 (年中無休 9時～21時)
- ネットから → 「WOWOW」で検索

② 手続き完了後、WOWOW BS-9ch (191ch)を選局して15分程度お待ちください。
(左ページの手順5で契約ができていないかご確認ください。)

ココロ動く、未来へ。 スカパー!

① CS161 QVCチャンネルを選局して、視聴できるかを確認してください。

リモコンのBS/CSを押す → 0番組入力を押す → **1**・**6**・**1**の順に押す

- 視聴できないときは… 0570-054-194 へお電話でお問い合わせください。
(PHS、IP電話のお客様は 03-4334-7813)(年中無休 10時～20時)

② 2週間お試し体験サービスを利用すれば、ご加入の前に約70チャンネルを2週間お試しでお楽しみいただけます。

以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- ネットから → スカパー公式サイト <http://www.skyperfectv.co.jp> 2週間お試し体験
- お電話から → スカパー! カスタマーセンター：
0570-033-668 または 03-4334-7812 (年中無休 10時～20時)
- 本機から → チャンネルをCS100 スカパー! プロモ100に合わせて、案内に従ってお申し込みください。

③ 2週間のお試し体験期間で見たいチャンネルやパック・セットが決まったら、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

- ネットから → スカパー公式サイト <http://www.skyperfectv.co.jp> 加入手続き内新規加入申し込み
- お電話から → スカパー! カスタマーセンター (総合窓口)
0570-039-888 または 03-4334-7777 (年中無休 10時～20時)

お申し込み完了後は、申し込み時の案内に従い、ご契約いただいたチャンネルを選局し、視聴可能になるまでしばらくお待ちください。



① BSデジタルでスター・チャンネルをご覧いただくには、まずスカパー!にご加入いただく必要があります。

- 具体的なご加入のフロー、加入のお申し込みについては、スカパー!の加入案内サイトをご確認ください。
<http://www.skyperfectv.co.jp/guide/>
- スカパー!をすでに見ている方は、加入者専用Myスカパー!から加入申し込みできます。
<https://my.skyperfectv.co.jp/login/>

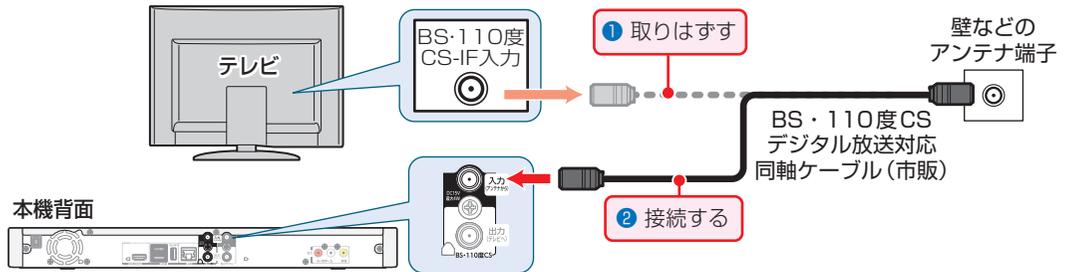
テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

BS・110度CSデジタル放送用アンテナ端子をつなぐ

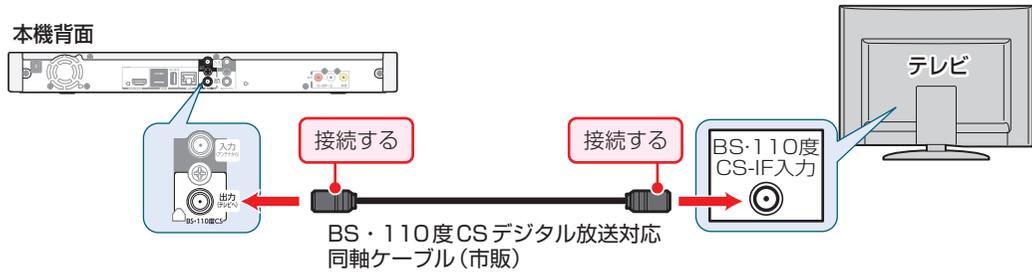
アンテナ端子が別々のときと、アンテナ端子が1つのときで接続方法が異なります。ご自宅のアンテナ端子に合わせて接続してください。

アンテナ端子が別々のときは

1 アンテナ線を本機につなぐ



2 同軸ケーブルをテレビと本機につなぐ

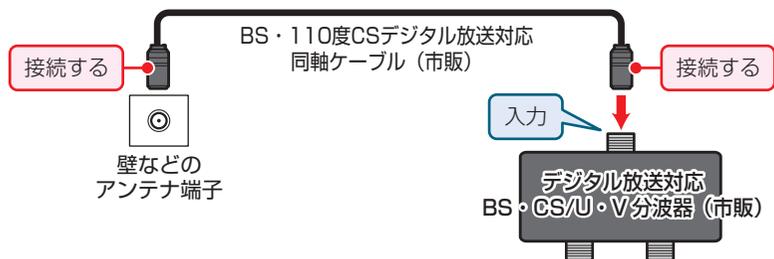


- 同軸ケーブルを接続したあとは、手順 **3** ~ **8** を行ってください。**12** ~ **13**

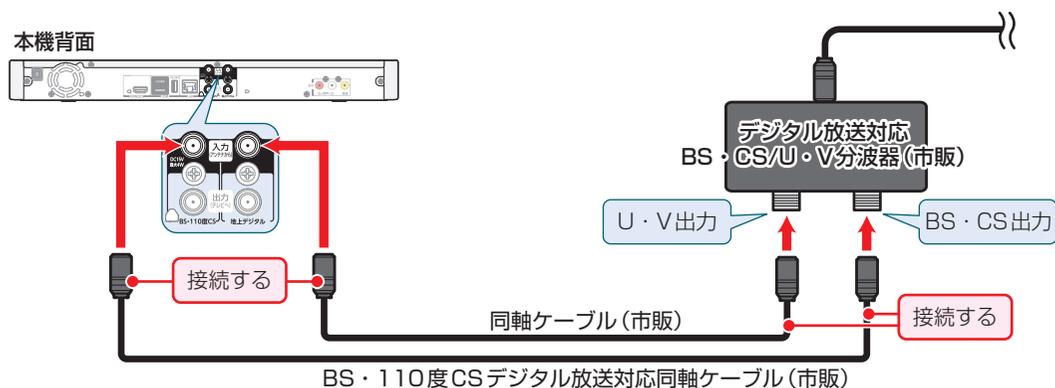
アンテナ端子が1つのときは

マンションなどの共同アンテナで、地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送の信号が混合で出力される壁からのアンテナ端子が1つの場合、分波器を使って地上デジタル放送の信号とBS・110度CSデジタル放送の信号を分けてください。

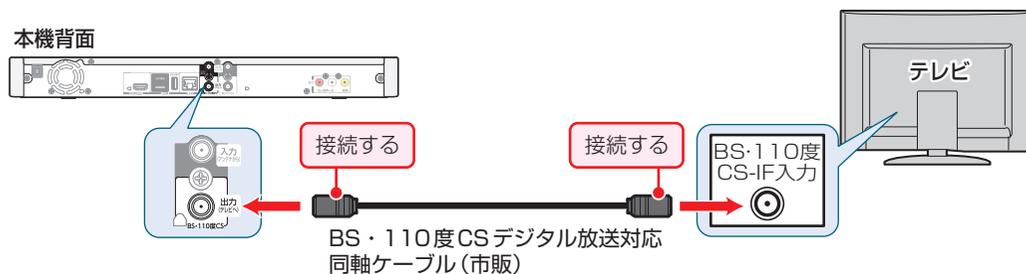
1 アンテナ線を分波器につなぐ



2 分波器と本機をつなぐ



3 同軸ケーブルをテレビと本機につなぐ



- 同軸ケーブルを接続したあとは、手順 **3** ~ **8** を行ってください。12F ~ 13F



- 分波器 (市販) には、ケーブル一体型のもや3分波タイプのものもあります。お買い求めになるときにどのタイプの分波器を選べば良いかわからないときは、販売店にご相談ください。
- BS・U/V分波器・分配器は、金属シールドタイプ (亜鉛ダイカスト製など) で110度CS帯域 (2150MHz) まで対応の、電流通過型のもをご使用ください。詳しくは、販売店にお問い合わせください。

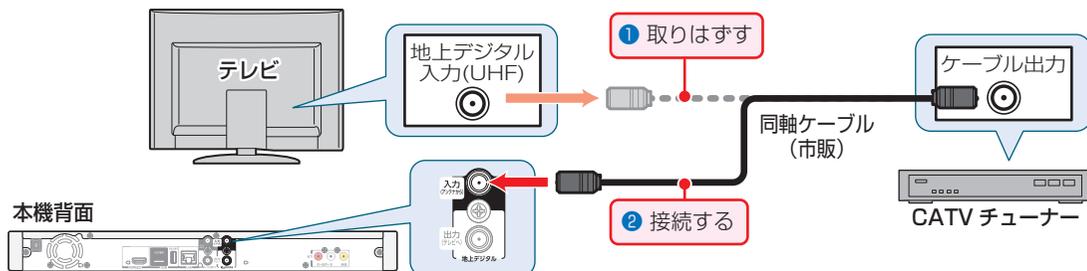
テレビやアンテナ、チューナーと本機をつなぐ・つづき

CATVチューナーをつなぐ

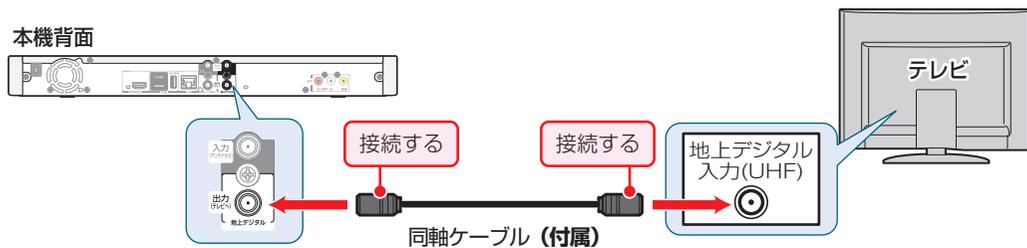
以下は接続の一例です。

実際の接続とご使用にあたっては、接続する機器や会社ごとに詳細が異なります。詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。また、チューナーに付属の取扱説明書もお読みください。

1 CATVチューナーに接続しているアンテナ線ははずし、本機につなぐ



2 同軸ケーブルを本機とテレビにつなぐ



- CATVチューナーを接続したあとは、手順 **3** ~ **8** を行ってください。12F ~ 13F

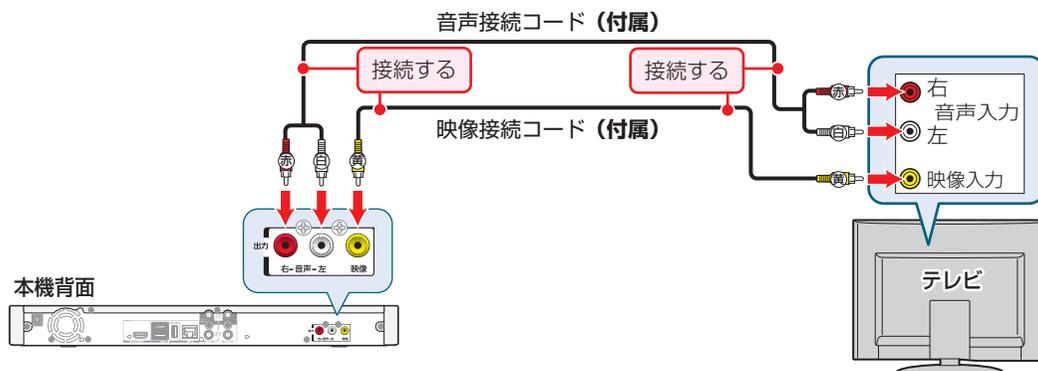


- 本機はパススルー方式に対応しています。パススルー方式とは、CATV会社が地上デジタル放送を信号変換せずそのままケーブルテレビに送る方式です。ご加入のCATV会社がパススルー方式であれば、地上デジタル放送を本機で受信・録画できます。CATV経由の地上デジタル放送は、本来のUHFチャンネルとは違うチャンネルに周波数を変換して送られてくることがあります。

映像・音声接続コードを使って、本機とテレビをつなぐ

お使いのテレビにHDMI端子がないときは、付属の映像・音声接続コードを使って本機とテレビを接続してください。

1 映像・音声接続コードをテレビと本機につなぐ



- 映像・音声接続コードでつなぐ場合は、本機とテレビを直接つないでください。
- 映像・音声接続コードを使って、本機からの映像を他機などを通してご覧になると、コピー防止機能によって正常な映像にならないことがあります。



- 著作権保護技術の制限により、コンテンツによっては映像出力端子から再生画が出力されない場合があります。再生画をご覧になりたい場合は、本機とテレビをHDMIケーブルで接続してください。著作権保護技術の制限に関連し、ソフトウェアの更新により制限内容が更新される場合があります。

リモコンを設定する

本機のリモコンで本機とお使いのテレビを操作する

テレビメーカーを設定する

テレビを操作する前に、お使いのテレビメーカーを設定してください。

1 **スタートメニュー** を押し、**▲・▼・◀・▶** で【本体設定】を選んで **決定** を押し

2 **▲・▼・◀・▶** で【はじめての設定/その他】→【リモコン設定】→【テレビリモコン設定】を選んで **決定** を押し

3 **地デジ** を押したまま、数字ボタンを押す

- 下記の表を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を、2けたで入力してください。(お買い上げ時の設定は、「東芝A」になっています)
- 例：東芝B (01) に設定する場合、**地デジ** を押したまま、**10.0** → **1** を押したあと、**地デジ** から指を離してください。
(**10.0** は番号「0」です)。

テレビメーカー	番号	テレビメーカー	番号
東芝A	00	パイオニア	11
東芝B	01	フナイ	12
ソニー	02	アイワ	13
パナソニックA	03	ビクター	14
パナソニックB	04	三洋A	15
シャープA	05	三洋B	16
シャープB	06	NEC	17
シャープC	07	富士通	18
LG	08	エプソン	19
日立	09	サムスン	20
三菱	10		

- テレビメーカーの番号を入力したあと、**音量** を押し、テレビの音量を調節できるかご確認ください。

テレビの音量が調節できないときは

テレビメーカーの番号を設定できていない可能性があります。もう一度、手順**3**を行ってください。(テレビメーカーの番号が複数ある場合は、他のテレビメーカーの番号を設定してください。)

メーカー番号が複数あるときは

いずれかの番号で設定してテレビの電源が入/切できないときは、他の番号を設定してください。



- テレビによっては、本機のリモコンではメーカーの設定や操作ができないことがあります。また、テレビメーカーの設定ができて、一部の機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

テレビを操作する

1 リモコンをテレビの受光部に向ける

2 テレビを操作する

- 以下のボタンでテレビが操作できます。



本機のリモコンが他のレコーダー（またはレグザサーバー）機器を操作しないようにする

当社製レコーダー（またはレグザサーバー）を2台以上使用するとき、本機のリモコンに他のレコーダー（またはレグザサーバー）が反応してしまうことがあります。その場合、本機とリモコンのそれぞれにリモコンモードを設定することで、他のレコーダー（またはレグザサーバー）が反応しないようにできます。（お買い上げ時の設定は、本機、リモコンとも【RC1】になっています。）

- 本機以外のレコーダー（またはレグザサーバー）でリモコンモードを設定するときは、その機器の取扱説明書をご覧ください。先に本機のリモコンモードを変更し、リモコンのリモコンモードを本機に合わせて変更してください。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押し

2 ▲・▼・◀・▶ で【はじめての設定/その他】→【リモコン設定】→【本体リモコン設定】を選んで **決定** を押し

3 ▲・▼ で本機に割り当てるリモコンモードを選んで **決定** を押し



4 手順3で設定したリモコンモードをリモコンに設定する

【RC1】を選んだとき

決定 を押したまま、**1** を押し

【RC2】を選んだとき

決定 を押したまま、**2** を押し

【RC3】を選んだとき

決定 を押したまま、**3** を押し

【RC4】を選んだとき

決定 を押したまま、**4** を押し

【RC5】を選んだとき

決定 を押したまま、**5** を押し

- すべての設定が終わったら、**終了** を押ししてください。

お子様などが誤ってリモコンのボタンを押しても、本機が動作しないようにするときは

一時的にリモコン信号を受け付けないようにできます。

1 **メニュー** → **番組説明** → **音声切換** の順に押し

- 解除するときは、もう一度同じ操作をしてください。



- 本機のリモコンで、ブルーレイ/DVDプレーヤーやビデオの操作はできません。



- 本機とリモコンのリモコンモードが異なる場合
 - 本機の電源が「入」のときにリモコンの操作をすると、画面にリモコンモードの設定方法が表示され、本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。
 - 本機の電源が「切」のときは本機前面のDISCランプとUSBランプが点滅します。

はじめての設定をする

準備

- テレビの電源を入れる
- テレビの入力切替で、テレビの入力を本機が接続されている入力に切り換える

【はじめての設定】を開始する

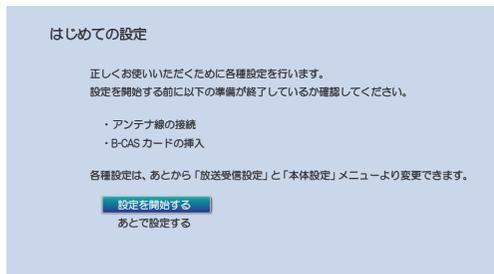
接続が終わって初めて本機の電源を入れたときは、テレビ画面に【はじめての設定】画面が表示されます。画面の案内やガイドに従って設定してください。

- 【はじめての設定】は、必ずアンテナが接続された状態で放送がある時間帯に行ってください。放送がない時間帯に行くと、チャンネルがとばされるように設定されて、選べなくなります。
- 【はじめての設定】実行中は、電源プラグを抜いたり電源を切ったりしないでください。

ネットワークを利用するときは

あらかじめ本機をネットワークに接続してください。 **42**

1 電源を押して本機の電源を入れる



- 【はじめての設定】の開始画面が表示されます。

はじめて電源を入れたときに画面が表示されないときは

次のことを確認してください。

- アンテナ⇄本機⇄テレビをつないでいますか。
- コードが抜けていたり、つなぎ間違えたりしていませんか。 **10**
- テレビの入力切替で本機を接続した入力に切り換えていますか。

2 【設定を開始する】を選んでそのまま決定を押す

あとで設定するときは

▲・▼で【あとで設定する】を選んで決定を押すと、終了画面が表示されるので、【完了】を選んで決定を押してください。

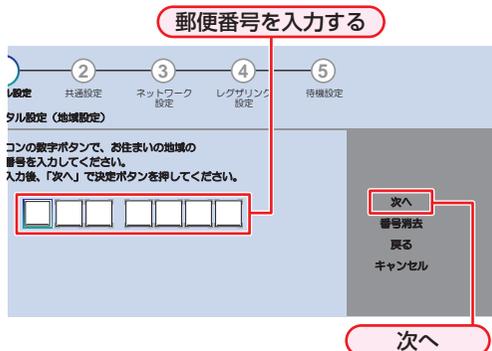
- あとで【はじめての設定】をするには、「【はじめての設定】をやり直す」 **31** をご覧ください。

① デジタル設定

3 miniB-CASカードが挿入されていることを確認し、【状態】が【正常】と表示されていることを確認してから、【次へ】を選んで決定を押す

- miniB-CASカードの挿入方法については **12** をご覧ください。
- 【状態】がエラーになっているときは、もう一度miniB-CASカードを挿入し直してください。 **12**

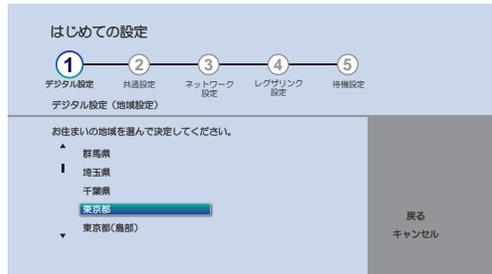
4 1 ～ 10.0 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、【次へ】を選んで決定を押す



入力を間違えたときは

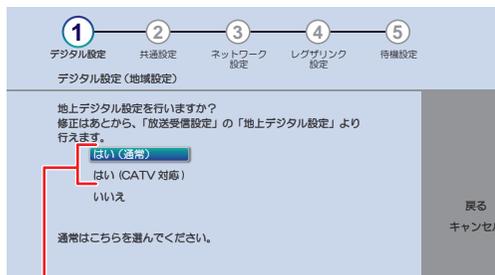
【番号消去】を選んで決定を押し、一括消去するか、▲・▼・◀・▶で戻って入力し直してください。

5 ▲・▼でお住まいの地域を選んで決定を押す



- 伊豆、小笠原諸島地域は、【東京都(島部)】を選びます。
- 鹿児島島の南西諸島地域は、【鹿児島県(島部)】を選びます。

6 ▲・▼で通常の地上デジタル放送、またはCATV(ケーブルテレビ)のいずれかを選んで決定を押す



- はい(通常)：** チャンネルをスキャンします。(通常はこちらを選んでください。)
- はい(CATV対応)：** CATV (ケーブルテレビ)方式でチャンネルをスキャンします。
- 【はい】を選ぶと、スキャンが始まります。(スキャンが完了するまで10分程度かかることがあります。)
 - スキャンが終わると、受信されたチャンネルは自動的にリモコンの数字ボタンに割り当てられ、【チャンネルの設定】画面に結果が表示されます。

7 ▲・▼・◀・▶で【次へ】を選んで決定を押す



- 「ページ1」「ページ2」「ページ3」に割り当てたチャンネルは、サブメニューの【選局ガイド】から選ぶことができます。(操17)

チャンネルがスキャンされなかったときは

手順8の画面で▲・▼・◀・▶で【戻る】を選んで決定を押してください。アンテナ⇄本機⇄テレビの接続をご確認後、もう一度、手順6を行ってください。

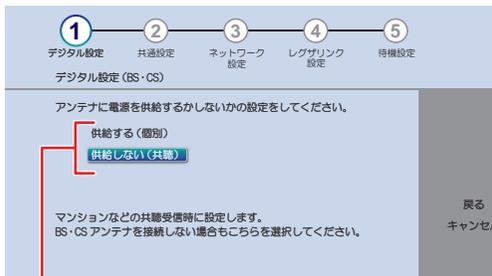
割り当てられたチャンネルを変更するときは

「リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる」(34)の手順4～5をご覧ください。

- 数字ボタンへの割り当てが終わったら、▲・▼・◀・▶で【次へ】を選んで決定を押してください。

8 ▲・▼でアンテナに電源を供給するかしないかを選んで決定を押す

- BS・110度CSデジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。
- アンテナの接続環境に合わせて設定してください。



- 供給する(個別)：** 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などからアンテナに電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに一戸建て住宅などで受信するときに設定します。
- 供給しない(共聴)：** 他の機器などからアンテナに電源を供給している場合やCATVなどで受信しているとき、またはBS・110度CSアンテナを接続しない場合はこちらを選択してください。おもにマンションなどの共聴受信時に設定します。

はじめての設定をする・つづき

② 共通設定

9 ▲・▼でアンテナ出力をするかしないかを選んで**決定**を押す

入： 待機中でも本機背面の地上デジタル出力端子や、BS・110度CS出力端子に接続したテレビなどで放送を受信できます。

切： 待機中は本機背面の地上デジタル出力端子や、BS・110度CS出力端子に接続したテレビなどで放送を受信できなくなる場合がありますが、消費電力を抑えることができます。

- 本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からテレビに接続しているときは、【入】に設定してください。

10 ▲・▼でテレビリモコン設定をするかしないかを選んで**決定**を押す

- 【いいえ】を選んだときは、手順13へ進んでください。

11 **地デジ**を押したまま、数字ボタンを押す

- 画面に表示されるテレビメーカーの番号を参考に、お使いのテレビメーカーの番号を、2けたで入力してください。(お買い上げ時の設定は、「東芝A」になっています。)

例：東芝B (01) の場合、**地デジ**を押したまま、

10 → **1** を押してください。

(**10** は番号「0」になります。)

- テレビメーカーの番号を入力したあと、**音量**を押してテレビの音量を調節できるかご確認ください。

12 テレビの音量が正しく調節できることを確認し、**決定**を押す

テレビの音量が調節できないときは

テレビメーカーの番号を設定できていない可能性があります。もう一度、手順11を行ってください。

(テレビメーカーの番号が複数ある場合は、他のテレビメーカーの番号を設定してください。)

メーカー番号が複数あるときは

いずれかの番号で設定してテレビの電源が「入」/「切」できないときは、別の番号を設定してください。



- テレビによっては、本機のリモコンでは、テレビメーカーの設定や操作ができないことがあります。また、テレビメーカーの設定ができて一部機能が操作できないことがあります。その場合はテレビに付属のリモコンをご使用ください。

③ ネットワーク設定

13 ▲・▼でネットワークを設定するかしないかを選んで**決定**を押す

- 【はい】を選んだ場合は、手順14へ進んでください。
- 【いいえ】を選んだ場合は「④レグザリンク設定」**30**の手順20へ進んでください。

14 ▲・▼で【有線LAN】または【無線LAN】を選んで**決定**を押す

- 【有線LAN】を選んだ場合は、右ページの「【有線LAN】を設定する」をご覧ください。
- 【無線LAN】を選んだ場合は、「【無線LAN】を設定する」**28**をご覧ください。
- 【有線LAN】と【無線LAN】を同時に利用できません。

【有線LAN】を設定する

▲・▼で設定方法を選んで**決定**を押してください。

【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク設定】の各項目を自動で設定し、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押し、「④レグザリンク設定」**29**の手順**15**へ進んでください。

【手動設定】を選んだときは

以下の項目が表示されるので、▲・▼で項目を選んで**決定**を押し、設定してください。

- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」**操68**をご覧ください。

IPアドレス取得方法

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

① ▲・▼で設定方法を選んで**決定**を押す

- ルーターにDHCP機能がないなどの場合、【手動】を選んで設定してください。

【自動(DHCP)】を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

- IPアドレス： パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2けたを、お好みの数値に変更したものを入力してください。(3けたまで入力可能です。)
- サブネットマスク： パソコンと同じ数値を入力してください。
- デフォルトゲートウェイ： パソコンと同じ数値を入力してください。

DNS-IP取得方法

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

① ▲・▼で設定方法を選んで**決定**を押す

【自動(DHCP)】を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にプライマリDNS/セカンダリDNSを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

- プライマリDNS： パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。
- セカンダリDNS： パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシ設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定をしてください。

① ▲・▼で設定方法を選んで**決定**を押す

【有効】を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

- 設定が終わったら、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると、確認画面が表示されるので、▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押し、「④レグザリンク設定」**29**の手順**15**へ進んでください。

【無効】を選んだときは

自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押し、「④レグザリンク設定」**29**の手順**15**へ進んでください。

はじめての設定をする・つづき

③ ネットワーク設定・つづき

【無線LAN】を設定する

- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ、情報漏えいのおそれがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合、以下の機能はお使いになれません。
eメールでの録画予約、ネットdeレック、ネットdeサーバーHD、レグザリンクシェア
- 無線LANネットワークのセキュリティレベルが低い場合(WEP)、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。

▲・▼で設定方法を選んで**決定**を押してください。

【無線LAN自動検出】を選んだときは

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

- 1 表示された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで**決定**を押す
- 2 セキュリティキーを入力し、**決定**を押す
 - 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」**操68**をご覧ください。
 - 確認画面が表示されるので、▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押してください。
- 3 設定モードを選ぶ
 - 【自動設定】を選んだときは、自動的にネットワーク接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押し、「④レグザリンク設定」**29**の手順**15**へ進んでください。
 - 【手動設定】を選んだときは、「【有線LAN】を設定する」**27**の「【手動設定】を選んだときは」をご覧ください。

【手動接続設定】を選んだときは

【手動接続設定】を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。

- 1 SSIDを入力して、**決定**を押す
 - 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」**操68**をご覧ください。
- 2 ▲・▼でセキュリティを選んで**決定**を押す
- 3 セキュリティキーを入力し、**決定**を押す
 - 確認画面が表示されるので、▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押してください。
- 4 設定モードを選ぶ
 - 【自動設定】を選んだときは、自動的にネットワークの接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されます。▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押し、「④レグザリンク設定」**29**の手順**15**へ進んでください。
 - 【手動設定】を選んだときは、「【有線LAN】を設定する」**27**の「【手動設定】を選んだときは」をご覧ください。



- 周波数が2.4GHzの機器（電子レンジなど）をお使いの場合、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHzに対応した無線LANルーター（アクセスポイント）をお使いの場合は、周波数を5GHzでのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合、無線LANルーター（アクセスポイント）の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

【かんたん接続設定(WPS)]を選んだときは

【プッシュボタン方式(PBC)】または【PINコード方式】で、かんたんに無線LANを設定できます。

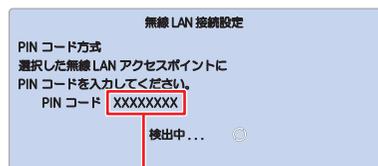
プッシュボタン方式(PBC)

画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押してください。

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押し、「④レグザリンク設定」**29**の手順**15**へ進んでください。

PINコード方式

- 1 表示された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を▲・▼で選んで**決定**を押す
- 2 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する

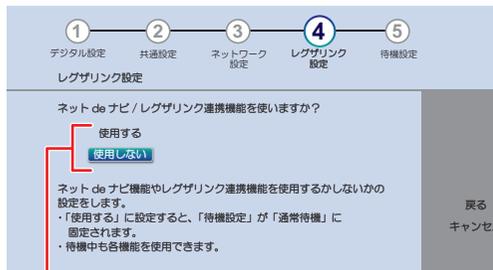


この数字をアクセスポイントに入力する

- PINコードの入力のしかたは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。設定が完了すると、確認画面が表示されます。▲・▼で【次へ】を選んで**決定**を押し、「④レグザリンク設定」**29**の手順**15**へ進んでください。

④ レグザリンク設定

15 ▲・▼でネットdeナビ/レグザリンク連携機能を使用するかしないかを選んで決定を押す



▲・▼で選ぶ

- 【使用しない】を選んだ場合は、手順 18へ進んでください。

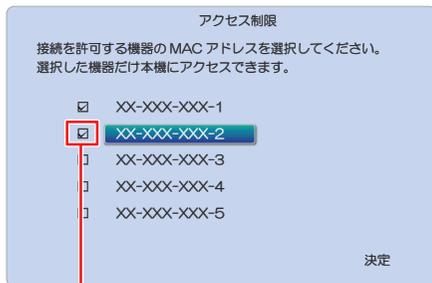
16 ▲・▼で本機で録画した番組の公開範囲を制限するかしないかを選んで決定を押す

制限する： 本機にアクセスできるDLNA対応機器を制限します。

制限しない： アクセスを制限しません。

【制限する】を選んだときは

本機にアクセスできる機器を選んで、決定を押してください。



選択した機器に【✓】が付きます。

- 決定を押すたびにチェックあり【】、なし【】が切り換わります。本機にアクセスできる機器を選択後、▲・▼・◀・▶で【決定】を選んで決定を押してください。
- DLNAクライアントがアプリケーションに依存されるタブレットやスマートフォンなどの端末機器のMACアドレスは表示されません。表示させるには【はじめての設定】完了後、端末機器でアプリケーションを起動してから、**再生**を押し、【本体設定】⇒【ネットワーク設定】⇒【ネットdeナビ/レグザリンク連携設定】⇒【アクセス制限】で確認します。

17 ▲・▼でデバイス名を変更するかしないかを選んで決定を押す

はい： ネットワーク上に表示される本機の名前を変更します。

いいえ： 本機の名前を変更しません。

【はい】を選んだときは



- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」**操68**をご覧ください。

はじめての設定をする・つづき

④ レグザリンク設定・つづき

18 ▲・▼でレグザリンクシェア機能を使用するかしないかを選んで決定を押す

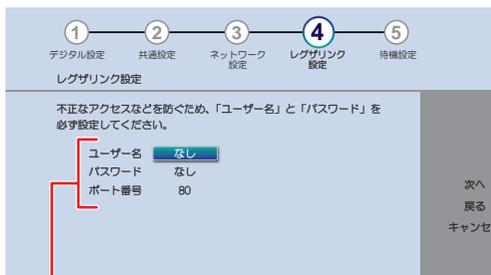
使用する： タブレットやスマートフォンなどの端末機器から、本機を操作できます。詳しくは操84をご覧ください。

使用しない： レグザリンクシェアを使用しません。

【使用する】を選んだときは

① ▲・▼で各項目を選んで決定を押す

② それぞれの項目を設定する



ユーザー名： 端末機器から本機にアクセスするためのユーザー名を設定します。ユーザー名は半角16文字までで入力してください。

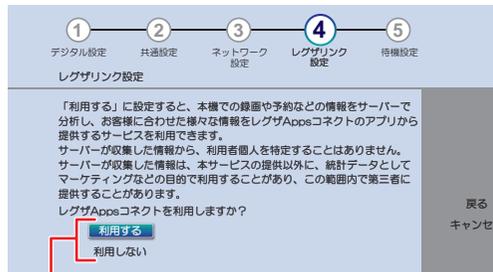
パスワード： 端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。パスワードは、半角で8～64文字で入力してください。

ポート番号： 通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が動かないときに、「2000」～「10000」の間で変更してください。

- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」操68をご覧ください。

③ 設定を終えたら▲・▼・◀・▶で【次へ】を選んで決定を押してください。

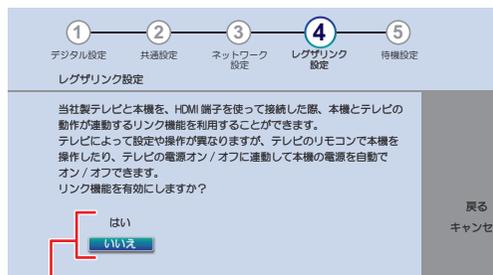
19 ▲・▼でレグザ Appsコネクトを利用するかしないかを選んで決定を押す



利用する： レグザAppsコネクトを利用します。操52

利用しない： レグザAppsコネクトを利用しません。

20 ▲・▼でレグザリンク・コントローラ機能を使用するかしないかを選んで決定を押す



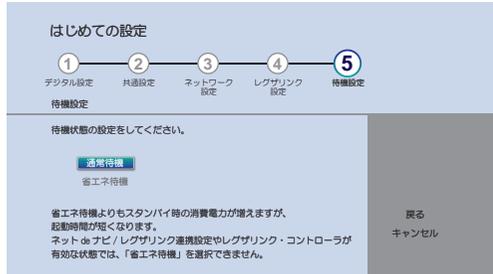
はい： レグザリンク・コントローラ機能を有効にします。

いいえ： レグザリンク・コントローラ機能を有効にしません。

- レグザリンク・コントローラ機能を使うためには、本機と当社製レグザリンク対応テレビを、HDMIケーブル(市販)で接続してください。詳しくは、操12をご覧ください。

⑤ 待機設定

21 ▲・▼でお好みの待機方法を選んで決定を押す



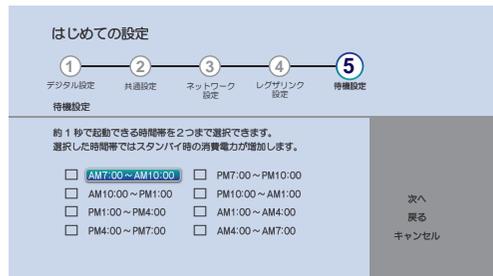
通常待機：【省エネ待機】に設定したときよりも高速で起動しますが、待機時の消費電力が増えます。

省エネ待機：【通常待機】に設定したときよりも起動に時間がかかりますが、待機時の消費電力を抑えることができます。

以下の場合、【省エネ待機】を選ぶことはできません。

- 手順15でネットdeナビ/レグザリンク連携機能を【使用する】に設定した場合
- 手順20でレグザリンク・コントローラ機能を【はい】に設定した場合

22 ▲・▼・◀・▶で瞬速起動を設定したい時間帯を選んで決定を押す



ここで設定している時間帯だけ、電源を入れてから本機が使用できるまでの時間を【待機設定】の【通常待機】設定時よりさらに短縮できます。詳しくは、操96をご覧ください。

- 決定を押すたびにチェックあり[]、なし[]が切り換わります。
- 最大2つまで設定できます。

23 設定を終えたら、▲・▼・◀・▶で【次へ】を選んで決定を押す

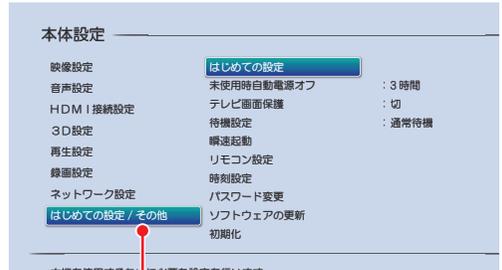
24 ▲・▼で【完了】を選んで決定を押す

- 【はじめての設定】が完了します。

【はじめての設定】をやり直す

1 [スタート]を押し、▲・▼・◀・▶で【本体設定】を選んで決定を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【はじめての設定/その他】→【はじめての設定】を選んで決定を押す



3 24番～31番の手順3～24を行う

- すべての設定が終わったら、終了を押してください。

放送関連の設定を変える(放送受信設定)

放送関連の設定は、【放送受信設定】メニューで変更することができます。

【放送受信設定】を使う

1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ で【放送受信設定】を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼・◀・▶ で希望の項目または設定を選んで **決定** を押す

この操作を繰り返し、希望の設定に変更します。

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

【放送受信設定】の項目と設定内容

地上デジタル設定

チャンネル初期スキャン

地域設定： お住まいの地域に合った地上デジタルチャンネル設定を行うために必要な設定です。引っ越しなどで、地上デジタル放送の受信地域が変わったときなどに、全チャンネルのスキャンをやり直します。(【はじめての設定】の中で実行されるスキャンと同じです。)

通常： 地上デジタル放送のチャンネルを対象にスキャンを行います。

CATV対応： CATVのチャンネルを対象にスキャンを行います。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。

チャンネル再スキャン

地上デジタル放送の放送局が追加されたとき、チャンネルの再スキャンを行い、新たに受信できた放送局を自動的に追加します。

- 設定が終わるまで10分程度かかることがあります。
- 地上デジタル放送チャンネルのみが対象です。

アンテナの設定

映りが悪い地上デジタル放送チャンネルがあるとき、地上デジタル放送アンテナの受信レベルを確認できます。

アッテネーター [入] / [切]： アンテナレベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。【アッテネーター】の設定を変更すると、受信状況が改善する場合があります。**35**

物理チャンネル： リモコンの数字ボタンで、2けたの物理チャンネルを入力し、受信します。

チャンネルの設定

チャンネルの割り当て設定： リモコンの数字ボタンに地上デジタル放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定： ▲・▼ で選局するとき不要なチャンネルをスキップするように設定します。

詳しくは、**34** をご覧ください。

自動チャンネルリバック

入： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になった際、それに合わせて本機のチャンネル設定を自動的に更新します。

切： 地上デジタル放送の中継局のチャンネルが変更になっても、本機のチャンネル設定を自動的に更新しません。視聴できないチャンネルが発生した場合は、【チャンネル再スキャン】を行ってください。

BS・CSデジタル設定

- BS・110度CSチャンネルに関しては、チャンネルスキップをしなくても自動的にチャンネルが取得されます。

アンテナ電源

BS・110度CS デジタル放送用アンテナで放送を受信するには、アンテナへの電源供給が必要です。ここでは、本機からアンテナへ電源を供給するかどうかを設定します。

供給する(個別)： 本機とアンテナを直接つなぎ、他の機器などから電源を供給していない場合、こちらを選択してください。おもに一戸建て住宅などで受信するときに設定します。

供給しない(共聴)： 他の機器から電源を供給している場合や、CATVなどで受信しているとき、またはBS・110度CSアンテナを接続しない場合もこちらを選択してください。おもにマンションなどの共聴受信時に設定します。

アンテナの設定

映りが悪いBS・110度CSデジタル放送チャンネルがあるとき、BS・110度CSアンテナの受信レベルを確認できます。レベルを確認しながらアンテナの向きを調整してください。**36**

BSチャンネルの設定

チャンネルの割り当て設定： リモコンの数字ボタンにBS放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定： **▲**・**▼**で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

詳しくは、**34**をご覧ください。

CSチャンネルの設定

チャンネルの割り当て設定： リモコンの数字ボタンに110度CS放送用のチャンネルを登録します。

チャンネルスキップ設定： **▲**・**▼**で選局するときに不要なチャンネルをスキップするように設定します。

詳しくは、**34**をご覧ください。

難視聴地域対策

地上デジタル放送を受信できない地域でも、衛星放送を利用して、暫定的に地上デジタル放送の番組を視聴できるように設定します。対応したminiB-CASカードが必要です。放送の内容や利用できる地域、お申し込み方法などについては、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ <http://www.dpa.or.jp/chideji/safetynet.html> をご覧ください。

入： 衛星放送を利用して、地上デジタル放送を視聴します。

切： この機能を利用しません。

共通設定

視聴年齢制限

デジタル放送の視聴可能年齢を設定します。詳しくは、**37**をご覧ください。

- 設定/解除するにはパスワードの作成・入力が必要です。

無制限： 年齢制限しません。

4歳～19歳： 制限したい年齢を選んでください。設定した年齢の制限を超える番組を視聴または録画予約するときは、パスワードの入力が必要になります。

パスワード変更

【視聴年齢制限】のパスワードを変更します。

詳しくは、**37**をご覧ください。

B-CASカード番号表示

miniB-CASカードの状態やID番号を表示します。

アンテナ出力

本機の電源が「切」のとき、背面の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力し続けるかどうかの設定をします。本機の地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子からアンテナ線をテレビにつないでいるときは「入」にしておいてください。「切」にすると、本機の電源が「切」のときにテレビで地上デジタル放送やBS・110度CS放送を受信できなくなります。

入： 電源「切」時でも地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力します。

切： 電源「切」時は地上デジタル出力端子やBS・110度CS出力端子から信号を出力しません。

文字スーパー

ニュース速報など、放送上に文字スーパーの情報が含まれている場合、表示される文字スーパーの言語を設定します。

- 放送に文字スーパーの情報が含まれていないときや、番組(強制的に文字スーパーが表示されるものなど)によっては、設定どおりに表示されないことがあります。

- 【表示しない】に設定しても、緊急放送のような自動表示モードの文字スーパーは強制的に表示されます。

- 文字スーパーの対応言語は日本語、英語となります。

日本語で表示/英語で表示/表示しない

地域の設定

お客様のお住まいの地域を設定します。データ放送サービスなどで、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために必要な設定です。

詳しくは、**37**をご覧ください。

郵便番号の設定

お住まいの地域の郵便番号を設定します。地域に密着したデータ放送をより正しく視聴するために、郵便番号を入力してください。

詳しくは、**37**をご覧ください。

チャンネルの設定を変更する

リモコンの数字ボタンにデジタル放送チャンネルを割り当てる

1 **メニュー** を押し、**▲・▼・◀・▶** で【放送受信設定】を選んで **決定** を押す

2 **地上デジタル放送の場合**
▲・▼・◀・▶ で【地上デジタル設定】→【チャンネルの設定】を選んで **決定** を押す

BS・110度CSデジタル放送の場合

▲・▼・◀・▶ で【BS・CSデジタル設定】→【BSチャンネルの設定】または【CSチャンネルの設定】を選んで **決定** を押す

3 【チャンネルの割り当て設定】を選んで **決定** を押す



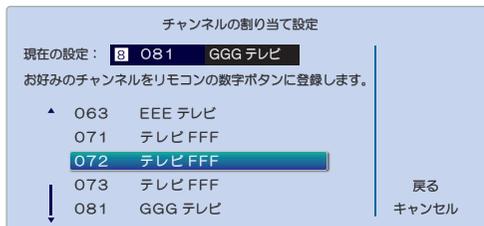
チャンネル割り当て一覧

- チャンネル割り当て一覧の並びは、リモコンの数字ボタンの並びと一致しています。
- 「ページ1」「ページ2」「ページ3」に割り当てたチャンネルは、サブメニューの【選局ガイド】から選ぶことができます。**操17**

4 **▲・▼・◀・▶** で、チャンネルを割り当てたい番号のマスを選んで **決定** を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

5 手順4で選んだ数字ボタンに割り当てたいチャンネルを **▲・▼** で選んで **決定** を押す



- チャンネル割り当て一覧画面に戻ります。
- チャンネルの割り当てを解除する場合は、【チャンネルの割り当てをしない】を選んで **決定** を押してください。

6 設定が終わったら、**▶** で【完了】を選んで **決定** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押してください。

チャンネルをスキップする

▲・▼ を押したときに、視聴しないチャンネルをスキップできます。

1 **メニュー** を押し、**▲・▼・◀・▶** で【放送受信設定】を選んで **決定** を押す

2 **地上デジタル放送の場合**
▲・▼・◀・▶ で【地上デジタル設定】→【チャンネルの設定】を選んで **決定** を押す

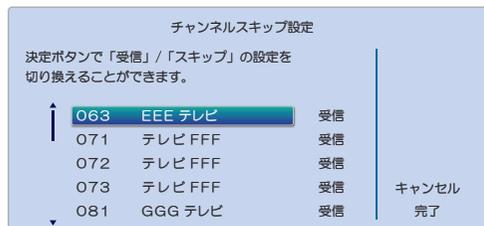
BS・110度CSデジタル放送の場合

▲・▼・◀・▶ で【BS・CSデジタル設定】→【BSチャンネルの設定】または【CSチャンネルの設定】を選んで **決定** を押す

3 【チャンネルスキップ設定】を選んで **決定** を押す

- チャンネル一覧が表示されます。

4 **▲・▼** でスキップしたいチャンネルを選んで **決定** を押す



- チャンネル名の右が【受信】から【スキップ】に切り換わります。
- **決定** を押すたびに【受信】と【スキップ】が切り換わります。

5 設定が終わったら、**▶** で【完了】を選んで **決定** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押してください。

お知らせ

- 【スキップ】に設定したチャンネルは、番組表に表示されなくなります。

映りが悪いチャンネルを調整する

地上デジタル放送のアンテナを調整する

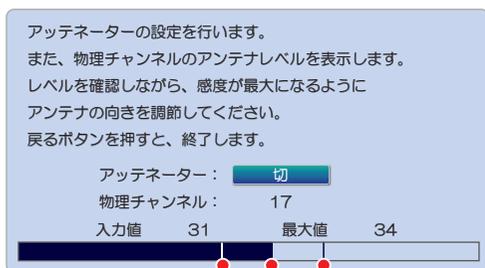
【アッテネーター】の設定を【入】にすると、状況が改善されることがあります。

1 地上デジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 **放送受信設定** を押し、**▲・▼・◀・▶** で【放送受信設定】を選んで **決定** を押す

3 **▲・▼・◀・▶** で【地上デジタル設定】→【アンテナの設定】を選んで **決定** を押す

4 **▲・▼** でアッテネーター欄を選んで **決定** を押す



最大感知レベル
現在の入力レベル
放送受信のためのアンテナレベルの目安(20)

- 地上デジタル放送はUHF放送の電波を使って送信されています。物理チャンネルとは、地上デジタル放送を実際に受信しているUHF放送のチャンネル(13～62CH)のことです。

地上デジタル放送用のアンテナレベルについて

この画面でアンテナレベルを確認しながら、UHFアンテナの向きを調整できます。この場合、アンテナレベルは「20」以上が目安です。

- この画面で【物理チャンネル】を選んで **決定** を押すと、受信レベルを表示する物理チャンネルを入力できます。

5 **▲・▼** で【入】を選んで **決定** を押す

- 受信の強弱が変更されます。(【入】にすると弱くなり、状況が改善されることがあります。)
- CATVをご利用の場合は、CATVの13～63CHでも送信されている場合があります。CATV用チャンネルは、手順4で、【物理チャンネル】の先頭に「C」が表示されます。

6 調整が終わったら、**戻る** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押しください。

お知らせ

- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。

映りが悪いチャンネルを調整する・つづき

BS・110度CSデジタル放送のアンテナを調整する

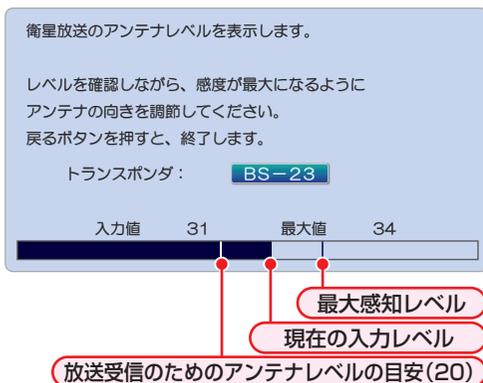
【BS・CSデジタル設定】の【アンテナの設定】画面でアンテナレベルを確認しながら、アンテナの向きを調整できます。(マシオンなどの共聴アンテナやCATV (ケーブルテレビ)をご利用の場合は、この調整は不要です。)

1 BS・110度CSデジタル放送の映りが悪いチャンネルを選局する

2 **スタート** を押し、▲・▼・◀・▶ で【放送受信設定】を選んで **決定** を押す

3 ▲・▼・◀・▶ で【BS・CSデジタル設定】→【アンテナの設定】を選んで **決定** を押す

4 「入力値」の数値が「20」以上になるように、アンテナの向きを調整する



- アンテナレベルは「20」以上が目安です。
- 未契約の有料放送のチャンネルが選局されている場合、放送の映像と音声は確認できません。
- **決定** を押すと、チャンネルを選ぶことができます。他のチャンネルに切り換えたいときは ▲・▼ でチャンネルを選んで **決定** を押してください。

5 調整が終わったら、**戻る** を押す

- すべての設定が終わったら、**終了** を押してください。



- 【BS・CSデジタル設定】の【アンテナ電源】の設定を【供給する(個別)】にしたときは、本機の電源プラグを常に電源コンセントに差し込んで(通電状態にして)おいてください。
- BS・110度CSアンテナのアンテナ線がショートすると、【アンテナ電源】の設定が自動的に【供給しない(共聴)】に切り換わることがあります。
- アンテナの設置や工事、アンテナやアンテナ線などの修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。



- アンテナレベルの数値は、アンテナ設置方向の最適値や受信状況を確認するための目安で、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質(信号と雑音の比率)を表しています。数値は、天候などの影響を受けて増減することがあります。また、放送局や環境によって大きく変わることがあります。
- 1台のBS・110度CSアンテナを複数の機器で共用しているときは、アンテナ(ケーブル)を最初に接続している機器からBSアンテナ電源を供給してください。 **33**

地域設定を変更する

お住まいの地域を設定します。

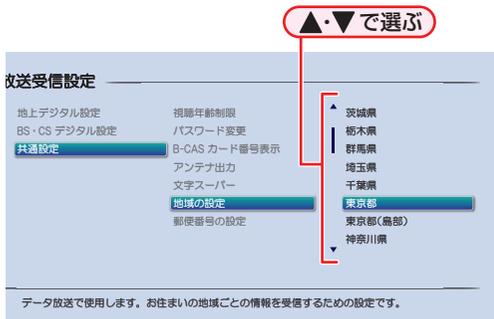
- データ放送サービスなど、お住まいの地域に応じたサービスをご利用いただくために、郵便番号とあわせて設定してください。

1 **メニュー** を押し、**▲・▼・◀・▶** で【放送受信設定】を選んで **決定** を押し

地域の設定

1 **▲・▼・◀・▶** で【共通設定】→【地域の設定】を選んで **決定** を押し

2 **▲・▼** でお住まいの都道府県を選んで **決定** を押し



- 伊豆、小笠原諸島地域は、【東京都(島部)】を選びます。
- 南西諸島鹿児島島根地域は、【鹿児島県(島部)】を選びます。

郵便番号の設定

1 **▲・▼** で【郵便番号の設定】を選んで **決定** を押し

- 郵便番号入力画面が表示されます。

2 **1** ~ **10** でお住まいの地域の郵便番号を入力し、**▲・▼・◀・▶** で【完了】を選んで **決定** を押し

入力を間違えたときは

【番号消去】を選んで **決定** を押し、一括消去するか、**▲・▼・◀・▶** で戻って入力し直してください。

2 変更が終わったら、**戻る** を押し

- すべての設定が終わったら、**終了** を押ししてください。

視聴可能年齢を設定する

デジタル放送には青少年の保護の観点から視聴年齢制限付きの放送があります。

視聴制限を解除するためのパスワードを設定すると、デジタル放送の有料放送で視聴可能年齢の制限を超える番組を視聴するときに、パスワードの入力が必要となります。**操19** パスワードを設定していない場合、視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組は本機の録画リスト画面に表示されません。

ここで設定するパスワードは、デジタル放送の視聴制限を解除するためのパスワードとなります。[BD視聴制限レベル]や[DVD視聴制限レベル]、[インターネット接続制限]**操91**を設定するためのパスワードとは異なります。

1 **メニュー** を押し、**▲・▼・◀・▶** で【放送受信設定】を選んで **決定** を押し

2 **▲・▼・◀・▶** で【共通設定】→【視聴年齢制限】を選んで **決定** を押し

- パスワード入力画面が表示されます。

3 **1** ~ **10** でパスワード(4けた)を入力する

- 初めてパスワードを登録する場合は、確認のためにもう一度パスワードの入力が求められます。最後に確認画面が表示されるので、**決定** を押ししてください。
- 入力した数字は、「*」で表示されます。

入力中に番号を間違えたときは

◀で戻るか、**▲・▼**で【全てクリア】を選んで **決定** を押ししてください。

パスワードを忘れてしまったときは

4、7、3、7を入力してください。
新しいパスワードを設定できます。

4 **▲・▼** で設定したい年齢を選んで **決定** を押し

- 視聴年齢が制限されたスカパー！の録画番組がある場合、設定した年齢よりも制限年齢が上の番組は、本機の録画リスト画面や、ネットワークを利用して別の機器で視聴する場合の再生リストに表示されません。

5 変更が終わったら、**戻る** を押し

- すべての設定が終わったら、**終了** を押ししてください。

パスワードを変更するときは

手順2で【視聴年齢制限】の代わりに【パスワード変更】を選んで **決定** を押し、画面の指示に従ってください。

USB-HDDを接続・設定する

USB-HDD（外付けHDD）をつなぐ前に

- 本機が対応するUSB-HDDについて
本機に接続して録画／再生が可能なUSB-HDDの最新情報や詳細は、下記のホームページをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- 他のレコーダーやテレビ、パソコンなどで使用していたUSB-HDDを本機に接続して登録すると本機専用のフォーマットで初期化されるため、それまでに保存されていたデータや録画番組などはすべて消去されます。
- 本機で使用していたUSB-HDDをパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。その際に、本機で保存した内容はすべて消去されます。
- USB-HDDの動作中は、USB-HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりしないでください。録画した内容が消えたり、USB-HDDが故障したりする原因となります。
- 本機とUSB-HDDを接続したり取りはずしたりするときは、本機とUSB-HDDの電源を必ず「切」にしてください。
【瞬速起動】が設定されている場合は、設定を解除してから電源を「切」にしてください。**(操 96 3)**
電源を「切」にしたあと、本機前面のランプがすべて消灯していることを確認してください。
 - USB-HDDの動作中に電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりすると、記録データが消えたり、本機およびHDDが故障したりする原因になります。
- USB-HDDに録画した番組は、本機でのみ再生できます。他の東芝レコーダー（同じ形名のレコーダーも含む）やパソコンなどに接続しても再生できません。

USB-HDDをつなぐ前に

HDDと同じように本機で受信した番組を録画したり再生したりすることができます。
(USB-HDDに付属の取扱説明書もよくお読みください。)

USBハブを使うときは

- USBハブは専用のACアダプターをご使用ください。
- USBハブを使うときに接続するUSB-HDDは、ACアダプターを使用するセルフパワー型をお使いください。(バスパワー型USB-HDDをUSBハブに接続しても使用できません。)
- USB-HDDの登録名や接続場所などを特定しやすくするために、1台ずつ接続して登録の処理が終わったら次のUSB-HDDを接続するようにしてください。
- 複数台のUSBハブを経由して本機にUSB-HDDを接続できません。
- 5ポート以上のUSBハブに5台以上のUSB-HDDを接続しても、本機が認識できるのは4台までです。
- USBハブの中には内部のハブが複数段になっているものもあります。そのようなUSBハブで接続した場合、本機がUSB-HDDを認識しない場合があります。



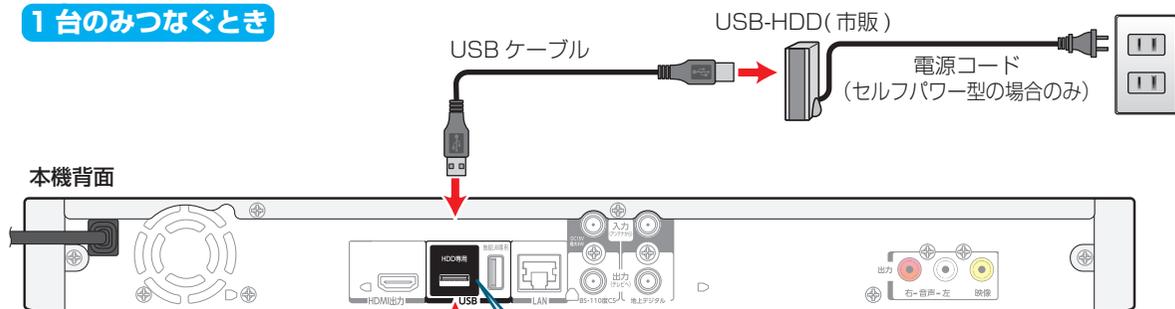
- USB-HDDは、8台まで本機に登録できます。
- 本機への登録を解除したUSB-HDDは、録画も再生もできなくなります。登録を解除したUSB-HDDを、もう一度本機に登録する場合も、本機専用フォーマットで初期化しますので、番組はすべて消去されます。登録を解除するUSB-HDDは、間違えないように注意してください。

USB-HDDをつなぐ

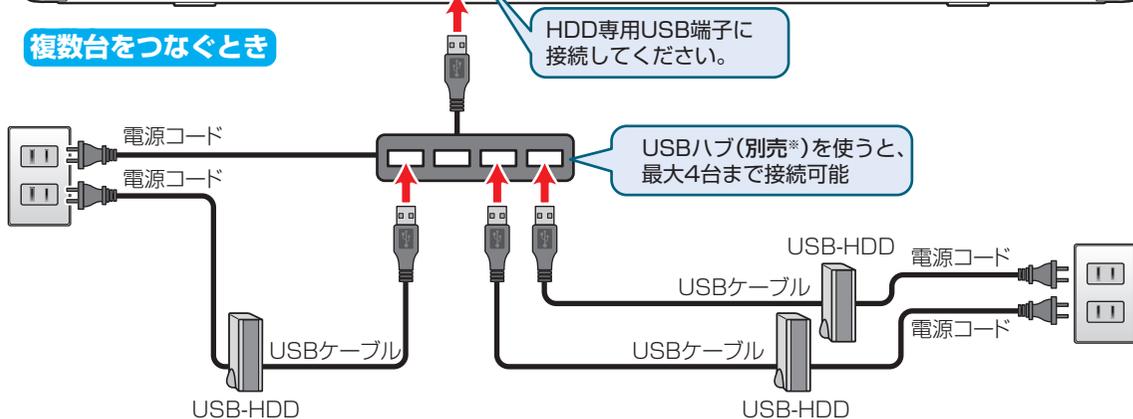
USB-HDDをつなぐ

- USB-HDDが電源付きの場合、本機の電源より先にUSB-HDDの電源を入れてください。

1台のみつなぐとき



複数台をつなぐとき



※ セルフパワー型のUSBハブは、アイ・オー・データ機器 (USB2-HB4R) またはバッファロー (BSH4AE06シリーズ) をお使いください。

USB-HDDを接続したあとは

- 本機にUSB-HDDを登録してください。(本機に登録されていないUSB-HDDはお使いになれません。)
- 未登録のUSB-HDDを接続すると、登録設定の確認画面が表示されます。
 - ▲・▼で【はい】を選んで **決定** を押してください。そのあと、「USB-HDDを登録する」**40**の手順**3**へ進んでください。

USB-HDDを取りはずすには

- 本機とUSB-HDDの電源を必ず「切」にしてから、接続ケーブルを抜いてください。

USB-HDDを接続・設定する・つづき

USB-HDDを登録する

USB-HDDを登録する

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶で【HDD/ディスクの管理】を選んで**決定**を押す
- 2 ▲・▼・◀・▶で、【USB-HDDメニュー】→【USB-HDD登録設定】を選んで**決定**を押す
- 3 ▲・▼で【未登録】と表示されている行を選んで**決定**を押す
 - 複数の未登録USB-HDDを接続している場合、接続しているUSB-HDD一覧が表示されますが、一覧ではUSB-HDDを特定できません。USB-HDDは、1台ずつ接続してください。

- 4 ▲・▼で【USB-HDDを本機に登録する】を選んで**決定**を押す
 - 確認画面が2回表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで**決定**を押してください。

- 5 ▲・▼で登録したUSB-HDDの名称を設定するかしないかを選んで**決定**を押す

【はい】を選んだ場合

手順6へ進んでください。

【いいえ】を選んだ場合

登録を完了して通常画面へ戻ります。

- あとで名前を変更する場合は、「ディスクまたはUSB-HDDの名前を変更する」**操102**をご覧ください。

- 6 編集画面が表示されるので名前を入力し、**決定**を押す

- 確認画面が表示されるので▲・▼で【はい】を選んで**決定**を押してください。
- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」**操68**をご覧ください。
- 設定が終わったら、**終了**を押してください。

登録を解除するときは

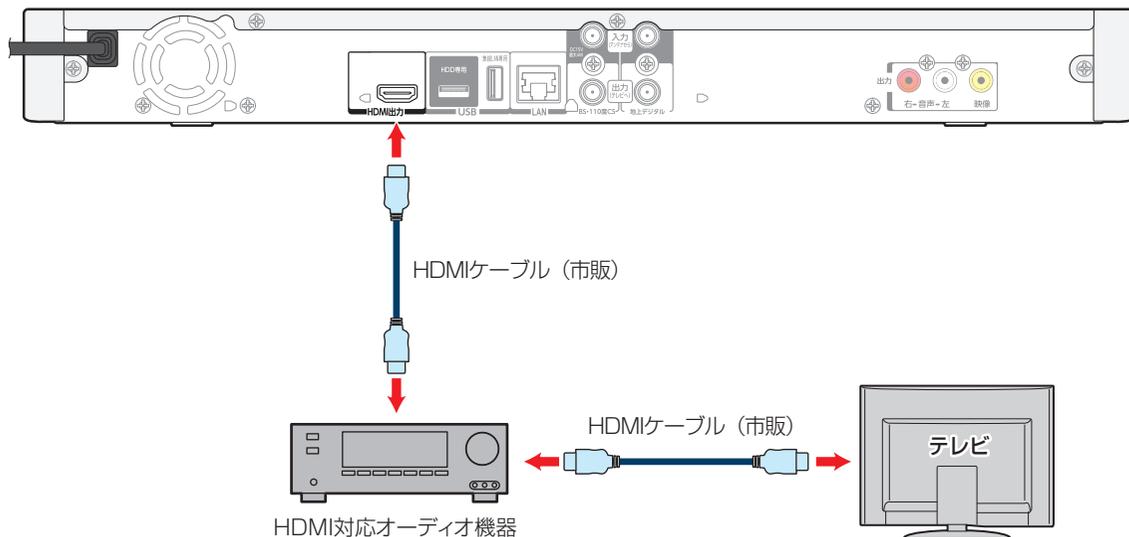
- 1 手順2のあと、▲・▼で登録を解除したいUSB-HDDを選んで**決定**を押す
- 2 ▲・▼で【USB-HDDの登録を解除する】を選んで**決定**を押す
 - 確認画面が2回表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで**決定**を押してください。
 - 設定が終わったら、**終了**を押してください。

AVアンプとつなぐ

HDMIケーブルを使って接続する

- PCM7.1ch対応のアンプと接続すると、BD-Videoの7.1ch音声を楽しむことができます。また、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD®の各音声をデコードできるアンプと接続すると、それぞれの音声を楽しむことができます。
- HDMIロゴのあるHDMIハイスピードケーブル(市販)をお使いください。

本機背面



- HDMIケーブルを使って接続した場合、テレビから音声が出ないことがありますので、アンプに接続したスピーカーなどから出力してください。詳しくは、AVアンプやテレビの取扱説明書をご覧ください。
- HDMI対応オーディオ機器によっては、レグザリンク機能をご利用できないことがあります。

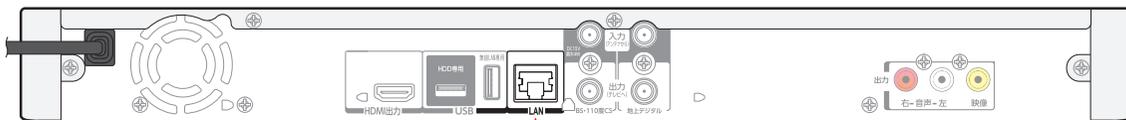
ネットワークを接続・設定する

用途やお客様のネットワーク環境によって、接続や設定方法が異なります。下図を確認しながら接続や設定をしてください。

LANケーブルを使って接続する

ブロードバンド常時接続環境でつなぐとき

本機背面



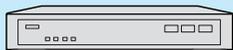
スカパー！プレミアムサービス Link (スカパー！HD録画)

スカパー！プレミアムサービスLink (スカパー！HD録画)をハイビジョンで録画やダビングできます。

- 2012年10月より「スカパー！HD録画」は「スカパー！プレミアムサービスLink」へ名称変更いたしました。

必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 46
- 「LAN (レグザリンク)連携設定」 50



eメールで録画予約したい

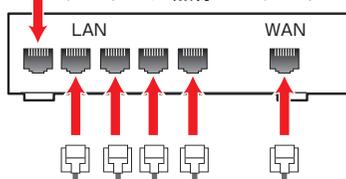
eメールで録画予約できます。

必要な設定

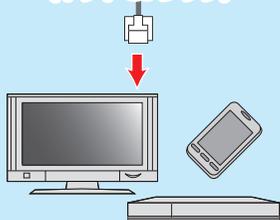
- 「ネットワーク接続設定」 46
- 「LAN (レグザリンク)連携設定」 50
- 「レグザリンクシェア設定」 50
- 「ネットdeナビ設定」 52



ルーター／無線LANルーター



他機を使ってダビングしたい (ネットdeレック)

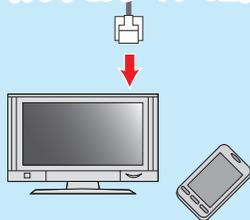


録画した番組をテレビから本機にダビングしたり、本機からスマートフォンにダビングしたりできます。

必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 46
- 「LAN (レグザリンク)連携設定」 50
- 「レグザリンクシェア設定」 50

他機を使って再生したい (ネットdeサーバーHD)

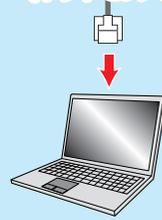


本機で録画した番組をスマートフォンなどで再生できます。

必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 46
- 「LAN (レグザリンク)連携設定」 50

パソコンを使って録画したい (ネットdeナビ)



パソコンで本機を操作し、番組を録画することができます。

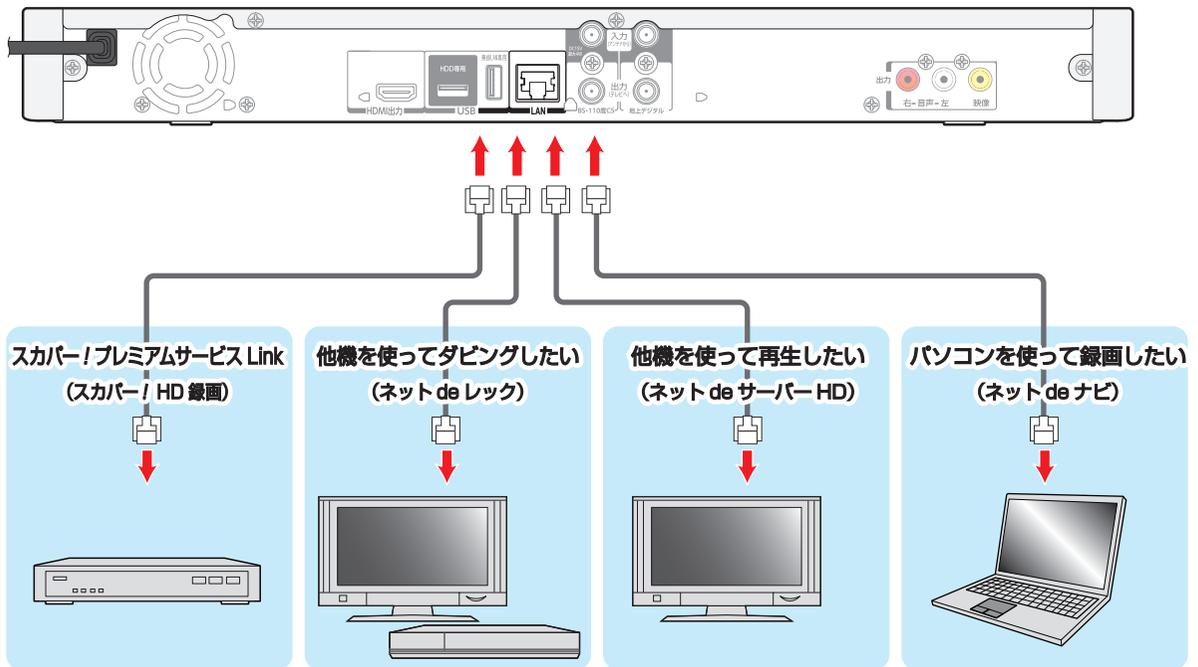
必要な設定

- 「ネットワーク接続設定」 46
- 「LAN (レグザリンク)連携設定」 50
- 「レグザリンクシェア設定」 50
- 「ネットdeナビ設定」 52

本機と機器をLANケーブルで直接つなぐとき

ブロードバンド常時接続環境がない場合は、本機と機器をLANケーブルで直接つないでください。

本機背面



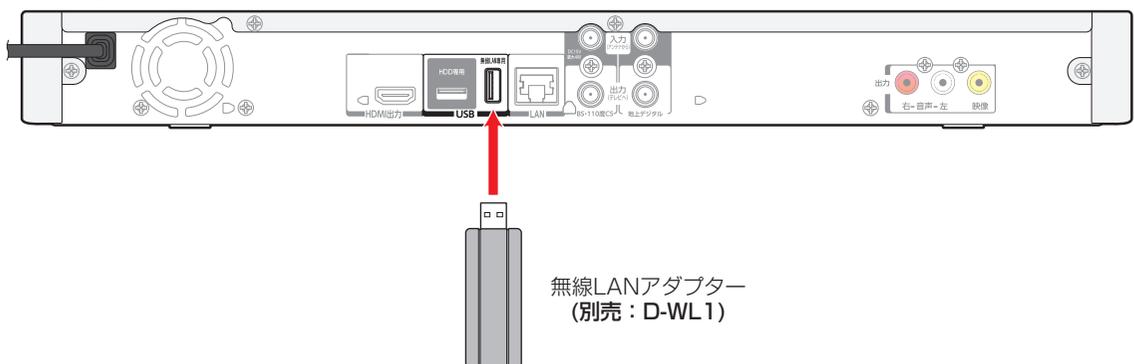
- ブロードバンド常時接続環境がないと、eメールで録画予約できません。

無線LANアダプター (別売)を使って接続する

東芝製無線LANアダプターを使うと、LANケーブルを使わずにネットワークに接続できます。

- ブロードバンド常時接続環境があれば、左図のすべての機能を使うことができます。

本機背面



- 東芝製無線LANアダプター (別売：D-WL1)以外は使用できません。

ネットワークを接続・設定する・つづき

ネットワーク接続環境

- 動作環境は、予告なく変更される場合があります。また、すべての動作を保証するものではありません。
- 本機に関する最新情報は、当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/
- 本機は、公衆無線LAN接続には対応していません。

ネットdeナビ機能に必要な動作環境

パソコン	
DOS/V互換パソコンまたはMacintoshコンピュータ (LANコネクタが必要) (市販品)	
OS : Windows® 2000 / XP / Vista / 7 (日本語版) Mac OS X (10.8.2) (日本語版)	
上記のOS以外の環境での動作は保証していません。	
カラーモニター : 16ビットカラー以上、 800×600ドット以上	
必要なデバイス : LANポート (100Base-TX / 10Base-T)	
WWWブラウザ	
Windows® 2000の場合 :	Internet Explorer 6.0
Windows® XPの場合 :	Internet Explorer 6.0/7.0
Windows® Vistaの場合 :	Internet Explorer 7.0/8.0
Windows® 7の場合 :	Internet Explorer 8.0
Mac OS X (10.8.2)の場合 :	Safari 6.0.2

上記以降のバージョンについては、すべての動作を保証するものではありません。

ネットdeナビの機能を使うには、PCにJava VM Ver.1.5 (Mac OS Xは1.4.2)がインストールされている必要があります。最新のJava VMを入手するには、米国Oracle Corporationの<http://java.com/ja/>のサイトでご確認ください。

ネットdeナビ機能の「メール録画予約機能」をご使用になる場合には、以下の環境が必要です。

- インターネット常時接続環境(ブロードバンド接続必須)
- 設置場所からパソコンで送受信可能なeメールアカウント (POPサーバーおよびSMTPサーバーを使用したサービス)
- ハブ機能を持ったブロードバンドルーター (DHCP機能搭載を推奨)
- 無線LANアダプター(別売:D-WL1)と無線LANルーター (無線LAN接続の場合)

用語と商標について

- Microsoft、Windows、Internet Explorerは米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® 2000...Microsoft® Windows 2000 Professional operating system Service Pack4 (SP4)日本語版
- Windows® XP...Microsoft® Windows® XP operating system日本語版
- Windows® Vista...Microsoft® Vista operating system日本語版
- Windows® 7...Microsoft® Windows® 7 operating system日本語版

- Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。
- Macintosh、Mac、Safariは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。
- DLNA®およびDLNA CERTIFIED™はDigital Living Network Alliance®の商標です。

制限事項

- ネットdeナビ機能は、本機をネットワークにつなぎ、本機が動作状態のときにだけ使用できます。(ネットdeナビ機能の電源待機状態でのメール予約確認機能は除く。)
- 「録画予約」を設定した場合を除き、ネットdeナビ機能で本機側の電源を「入」にできません。
- 動作環境にすべて合致していても正常に動作しない場合や、何らかの不具合が発生することがあります。すべての動作を保証するものではありません。
- 本機の通信機能は、米国電気電子技術協会IEEE802.3に準拠しています。
- 本機の通信状態、またはネットdeナビ機能で本機とパソコン間の通信状態によっては、表示が遅くなったり、表示や通信にエラーが発生したりする場合があります。
- プロバイダー (インターネット接続事業者) 側の設定や制限によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 電話通信用事業者およびプロバイダーとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でご負担ください。
- プロバイダー指定の回線接続機器 (ADSLモデムなど) に、100Base-TX/10Base-TのLANポートがない場合は接続できません。
- ADSLをご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信用事業者やプロバイダーが採用している接続の方式や契約の約款などによっては、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。(契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります。)
- プロバイダーによっては、ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。詳しくはご契約のプロバイダーにお問い合わせください。
- ハブやルーターを利用してブロードバンド常時接続のパソコンと接続する場合は、カテゴリ5 (CAT5)と表示された規格以上のLANケーブル(ストレート)をご使用ください。
- 直接本機とパソコンを接続する場合は、市販のLANケーブル(ストレートまたはクロス)をご使用ください。
- セキュリティソフトウェア自体やその設定によっては、本機能の一部が使用できない場合があります。
- 利用制限のされていない無線LANネットワークには接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。

以下は、ネットdeナビ機能を対象とした制限事項になります。

- 本機とハブやルーターとの接続には別途、市販のLANケーブル(ストレート)をご用意ください。
- 「メール録画予約機能」をご利用になるには、POP3またはAPOPに対応したご家庭から接続可能なeメールのアカウントが別途必要です。携帯電話などのメールアドレスのように、ご家庭のパソコンからアクセスできないeメールのアカウントはご利用になれません。
- 本機がネットワーク経由でインターネットサービスプロバイダーのメールサーバーにアクセスできるよう、常時接続されている必要があります。
- 「メール録画予約機能」を利用する場合、パソコンの電源を入れておく必要はありません。
- パソコンの設定は、メールのコピーを一定期間メールサーバーに保存する設定にしてください。メールを受信したときサーバーにコピーを残さず自動削除する設定ですと、本機で予約メールを受信できないことがあります。
- 携帯電話からのメール予約には、インターネットメールを使用してください。ショートメールのような携帯電話間だけのメール機能では使用できません。
- ポータルサイトのwebメール(POP3対応していない)はメール予約の設定には使用できません。(録画予約完了通知のアドレスには設定できます。)

免責事項

- 本機機能によって接続した機器に通信障害などの不具合が生じた場合の結果について、当社は一切の責任を負いません。
- お客様の居住環境が、ブロードバンド常時接続にできない場合、当社は一切責任を負いません。
- 火災、地震、雷など自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機能の使用または使用不能から生ずる付随的な障害(事業利益の損失、事業の中断、記録内容の変化・消失、インターネット契約料金・通信費用の損失など)に関して、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書および本書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続した機器、使用されるソフトウェアとの組み合わせによる誤動作や、ハングアップなどから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機能を使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- インターネットを使用して提供されるサービスは、予告なく一時停止したり、サービス自体が終了されたりする場合がありますので、あらかじめご了承ください。

ご注意

- LANケーブルは、カテゴリ5以上対応のストレートケーブルをご使用ください。

お知らせ

- LAN接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LANケーブルと同軸ケーブルを離してみてください。
- ブロードバンドルーターなどの設定で本機のMACアドレスが必要な場合は、を押し、【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットワークステータス表示】画面で確認できます。
- パソコンや外出先などから本機を遠隔操作できません。

すでにブロードバンド常時接続環境をお持ちの場合は

- 次のことをご確認ください。
 - 回線事業者やプロバイダーとの契約内容と事項
 - 必要な機器の準備
 - ADSLモデムやブロードバンドルーターなどの接続と設定
- 回線の種類や回線事業者、プロバイダーにより、必要な機器と接続方法が異なります。ADSLモデムやブロードバンドルーター、ハブ、スプリッター、ケーブルは、回線事業者やプロバイダーが指定する製品をお使いください。
- お使いのモデムやブロードバンドルーター、ハブの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 本機では、ブロードバンドルーターやブロードバンドルーター機能付きADSLモデムなどの設定はできません。パソコンなどで設定が必要な場合があります。
- ADSL回線をご利用の場合は
 - ブリッジ型ADSLモデムをお使いの場合は、ブロードバンドルーター(市販)が必要です。
 - USB接続のADSLモデムなどをお使いの場合は、ADSL事業者にご相談ください。
 - プロバイダーや回線事業者、モデム、ブロードバンドルーターなどの組み合わせによっては、本機と接続できない場合や追加契約などが必要になる場合があります。
 - ADSLモデムについてご不明な点は、ご利用のADSL事業者やプロバイダーにお問い合わせください。
 - ADSLの接続については専門知識が必要なため、ADSL事業者にお問い合わせください。
- FTTH(光ファイバー)回線をご利用の場合は
 - 接続方法などご不明な点については、プロバイダーや回線事業者へお問い合わせください。

ブロードバンド常時接続環境をお持ちでない場合は

プロバイダーおよび回線事業者と別途ご契約(有料)する必要があります。詳しくは、プロバイダーまたは回線事業者にお問い合わせください。

ネットワークを接続・設定する・つづき

ネットワーク接続設定

ネットワーク機能を利用するためには、あらかじめインターネットサービスプロバイダーなどとの契約とブロードバンド常時接続の環境に、本機をつなぐことが必要です。

- 本機とDLNA対応機器などを直接LANケーブルで接続する場合は、インターネットサービスプロバイダーの契約は不要です。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶で【本体設定】を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】を選んで **決定** を押す

3 ▲・▼で【有線LAN】または【無線LAN】を選んで **決定** を押す

無線LANで接続しているときは

【無線LAN】を選んで、「【無線LAN】を設定する」**48**の手順**3**へ進んでください。

LANケーブルで接続しているときは

【有線LAN】を選んで、以下の設定を行ってください。

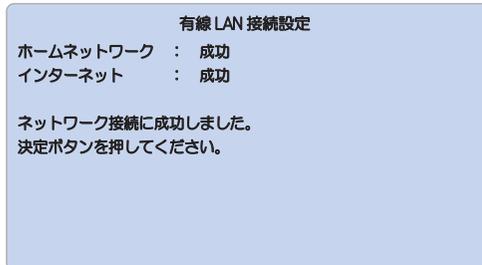
自動設定：本ページ「【有線LAN】を自動で設定する」の手順**1**へ進んでください。

手動設定：【手動設定】を選ぶと、各項目が表示されます。画面に従って、各項目を設定してください。**47**

【有線LAN】を自動で設定する

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを行います。また、既に設定済の場合は、自動設定で取得された値に設定値が更新されます。(プロキシの設定はクリアされます。)

1 ▲・▼で【自動設定】を選んで **決定** を押す



- 自動的に各項目が設定され、有線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。
- 設定が終わったら、**終了** を押してください。



- 【有線LAN】と【無線LAN】を同時に利用できません。
- LANケーブルで接続して【ネットワーク接続設定】の各設定を【手動設定】で変更した際は、必ず接続テストを行ってください。

[有線LAN]を手動で設定する

1 ▲・▼で【手動設定】を選んで決定を押す

- 設定一覧が表示されるので、それぞれの項目を▲・▼で選んで決定を押してください。
- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」[\(換\)68](#)をご覧ください。

IPアドレス取得方法

ネットワークで本機を識別するための固有の番号を設定します。

1 ▲・▼で【IPアドレス取得方法】を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定方法を選んで決定を押す

- ルーターにDHCP機能がない場合などは、【手動】を選んで設定してください。

【自動(DHCP)]を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にIPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

IPアドレス: パソコンに設定されているIPアドレスの最後の2けたを、お好みの数値に変更したものを入力してください。(3けたまで入力可能です。)

サブネットマスク: パソコンと同じ数値を入力してください。

デフォルトゲートウェイ: パソコンと同じ数値を入力してください。

DNS-IP取得方法

IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

1 ▲・▼で【DNS-IP取得方法】を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定方法を選んで決定を押す

【自動(DHCP)]を選んだときは

DHCP機能を使って自動的にプライマリDNS/セカンダリDNSを設定します。

【手動】を選んだときは

以下の項目に数値を入力してください。

プライマリDNS: パソコンの優先DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

セカンダリDNS: パソコンの代替DNSサーバーと同じ数値を入力してください。

プロキシ設定

本機をブロードバンド常時接続環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときは、プロキシ設定してください。

1 ▲・▼で【プロキシ設定】を選んで決定を押す

2 ▲・▼で設定方法を選んで決定を押す

【有効】を選んだときは

プロキシアドレスとプロキシポート番号を入力してください。

プロキシアドレスを入力する



プロキシポート番号を入力する



- 設定が終わったら、手順2へ進んでください。

【無効】を選んだときは

手順2へ進んでください。

2 ▲・▼で【接続テスト】を選んで決定を押す

- 確認画面が表示されるので、決定を押してください。

3 【手動設定】ですべての設定が終わったら、▶で【決定】を選んで決定を押す

- 設定が終わったら、終了を押してください。

接続テストでエラーメッセージが表示されたときは
画面の指示に従ってネットワークの設定をし直してください。

ネットワークを接続・設定する・つづき

【無線LAN】を設定する

- 本機(背面)に接続する無線LANアダプターは、東芝製無線LANアダプター (別売：D-WL1)をお使いください。
- 無線LANをお使いになるときは、セキュリティなどで暗号化してお使いください。暗号化していないと、第三者に不正アクセスされ情報漏えいのおそれがあります。
- 無線LANネットワークのセキュリティを設定していない場合、以下の機能はお使いになれません。
eメールでの録画予約、ネットdeレック、ネットdeサーバー HD、レグザリンクシェア
- 無線LANネットワークのセキュリティレベルが低い場合(WEP)、eメールでの録画予約機能はお使いになれません。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶で【本体設定】を選んで **決定** を押し

2 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【ネットワーク接続設定】→【無線LAN】を選んで **決定** を押し

3 ▲・▼で設定方法を選んで **決定** を押し
 ・ 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」**操68** をご覧ください。

【無線LAN自動検出】

本機が利用可能な無線LANアクセスポイントを検出して、設定します。

- 1 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を ▲・▼ で選んで **決定** を押し
- 2 セキュリティキーを入力し、**決定** を押し
 ・ 確認画面が表示されるので、▲・▼ で【次へ】を選んで **決定** を押ししてください。
- 3 設定モードを選ぶ

【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので **決定** を押ししてください。

【手動設定】を選んだときは

IPアドレス、DNS-IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「【有線LAN】を手動で設定する」**47** をご覧ください。

【手動接続設定】

各項目を手動で設定します。

- 1 SSIDを入力して、**決定** を押し
- 2 ▲・▼でセキュリティを選んで **決定** を押し
- 3 セキュリティキーを入力し、**決定** を押し
 ・ 確認画面が表示されるので、▲・▼で【次へ】を選んで **決定** を押ししてください。
- 4 設定モードを選ぶ

【自動設定】を選んだときは

【ネットワーク接続設定】の各項目を自動で設定し、接続テストを開始します。接続テストが終わると確認画面が表示されるので **決定** を押ししてください。

【手動設定】を選んだときは

IPアドレス、DNS-IP、プロキシを設定してください。詳しくは、「【有線LAN】を手動で設定する」**47** をご覧ください。

【かんたん接続設定(WPS)】

プッシュボタン方式またはPINコード方式でかんたんに無線LANを設定できます。

▲・▼で【プッシュボタン方式(PBC)】または【PINコード方式】を選んで **決定** を押してください。

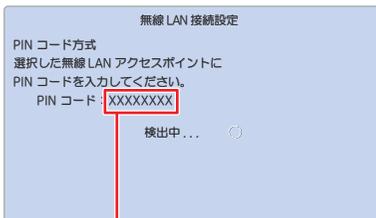
【プッシュボタン方式(PBC)】を選んだときは

画面の指示に従って、無線LANアクセスポイントのWPSボタンを押してください。

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

【PINコード方式】を選んだときは

- 1 検出された無線LANアクセスポイントから、本機の接続先を ▲・▼ で選んで **決定** を押す
- 2 表示されたPINコードを無線LANアクセスポイントやパソコンに入力する



この数字をアクセスポイントに入力する

- 自動的に各項目が設定され、無線LANの設定が完了します。
- 確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

お知らせ

- 周波数が2.4GHzの機器(電子レンジなど)をお使いの場合、無線LANの通信が途切れることがあります。5GHzに対応した無線LANルーター(アクセスポイント)をお使いの場合は、周波数を5GHzでのご使用をおすすめします。
- 無線LANの通信状態が良くない場合、無線LANルーター(アクセスポイント)の位置などを変更すると、通信状態が改善されることがあります。

ネットワークを接続・設定する・つづき

ネット de ナビ / レグザリンク連携設定

ネットワークを利用した連携機能を使うための設定をします。

- これらの機能を使用するには、「ネットワーク接続設定」[46](#)を完了している必要があります。

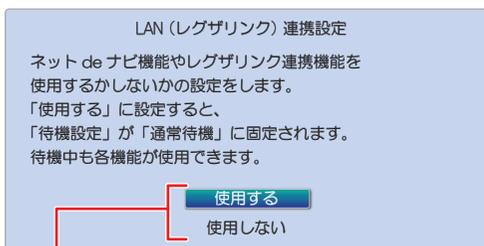
1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶で【本体設定】を選んで **決定** を押し

2 ▲・▼・◀・▶で【ネットワーク設定】→【ネット de ナビ / レグザリンク連携設定】を選んで **決定** を押し

LAN (レグザリンク) 連携設定

ネット de ナビ機能やレグザリンク連携機能を使用するか、しないかを設定します。

- 1 ▲・▼で【LAN (レグザリンク) 連携設定】を選んで **決定** を押し
- 2 ▲・▼で希望の設定を選んで **決定** を押し



使用する： サーバー機能を使用します。また、使用中に本機の電源を「切」にしても、番組を配信できます。

使用しない： サーバー機能を使用しません。

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

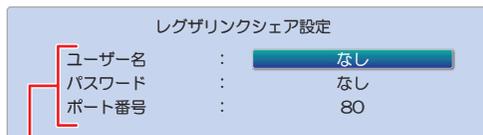


- 【使用する】に設定すると、【待機設定】が【通常待機】になります。

レグザリンクシェアを設定する

スマートフォンやタブレットなどの端末機器から、本機を操作できます。

- 1 ▲・▼で【レグザリンクシェア設定】を選んで **決定** を押し
- 2 ▲・▼で各項目を選んで **決定** を押し
- 3 それぞれの項目を設定する



ユーザー名： 端末機器から本機にアクセスするためのIDを設定します。

パスワード： 端末機器から本機にアクセスするためのパスワードを設定します。

ポート番号： 通常は設定を変える必要はありません。機能の一部が働かないときに、「2000」～「10000」の間で変更してください。

- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」[68](#)をご覧ください。
- 設定が終わったら、**終了** を押してください。



- パスワードは、半角で8～64文字で入力してください。

アクセス制限を設定する

本機にアクセスできる機器を制限するか、しないかを設定します。

① ▲・▼で【アクセス制限】を選んで決定を押す

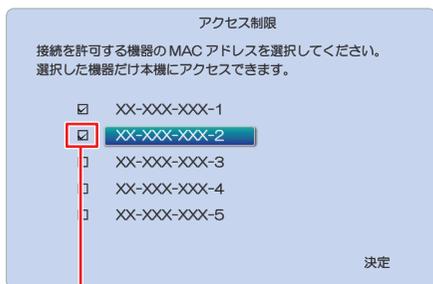
② ▲・▼で制限するか、しないかを選んで決定を押す

制限する： 本機にアクセスできる機器を制限します。

制限しない： アクセスを制限しません。

【制限する】を選んだときは

本機にアクセスできる機器を選んで、決定を押してください。



選択した機器に【✓】が付きます。

- 決定を押すたびにチェックあり(☑)、なし(☐)が切り換わります。本機にアクセスできる機器を選択後、▲・▼・◀・▶で【決定】を選んで決定を押してください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

デバイス名を設定する

ネットワーク上で表示される本機の名前を設定します。

① ▲・▼で【デバイス名】を選んで決定を押す

② デバイス名を入力して、決定を押す



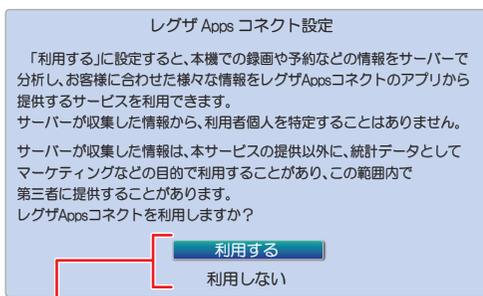
- 文字の入力方法については、「文字入力のしかた」(操68)をご覧ください。
- 設定が終わったら、終了を押してください。

ネットワークを接続・設定する・つづき

レグザAppsコネクト設定

レグザAppsコネクトのアプリから提供されるサービスを利用するかしないかを設定します。

- 1 **スタートメニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ で【**本体設定**】を選んで **決定** を押し
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【**ネットワーク設定**】⇒【**レグザ Apps コネクト設定**】を選んで **決定** を押し
- 3 ▲・▼ で【**利用する**】または【**利用しない**】を選んで **決定** を押し



利用する： レグザAppsコネクトを利用します。
利用しない： レグザAppsコネクトを利用しません。

- 設定が終わったら、**終了** を押してください。



- 【レグザAppsコネクト設定】を【利用する】に設定すると、本機での録画や予約などの操作情報がインターネットサーバーで記録されますが、これらの情報から利用者個人を特定することはありません。
- サーバーが収集した情報は、本サービスの提供以外に、統計情報としてマーケティングなどの目的で利用することがあり、この範囲内で第三者に提供する場合があります。

ネットdeナビを設定する

ネットdeナビを使うパソコン側の設定は、OSの種類によって異なりますので、詳しくはパソコンの取扱説明書をご覧ください。以下は、Windows® 7を例に説明しています。

- eメールで録画予約したいときは、ネットdeナビを設定したあとに、「メール録画予約機能」を設定してください。

53

パソコンの設定をする (ブロードバンド常時接続している場合)

ブロードバンド常時接続しているパソコンと本機を接続した場合は、パソコン側の設定は必要ありません。次ページの「ネットdeナビの設定」に進みます。

パソコンの設定をする (パソコンを直接接続している場合)

あらかじめ、パソコンで以下の設定をしてください。

- 1 「**コントロールパネル**」⇒「**ネットワークとインターネット**」⇒「**ネットワークと共有センター**」⇒「**アダプターの設定の変更**」⇒「**ローカルエリア接続**」の「**プロパティ**」をクリックする
- 2 「**インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)**」をクリックする
 「次のIPアドレスを使う」を選んでIPアドレスとサブネットマスクを設定してください。(すでに値が設定されているときは、設定を戻せるようにその値をメモに残しておくことをおすすめします)

IPアドレス：
 「192.168.1.10」を入力してください。(本機のIPアドレスとは異なるアドレスを設定します)

サブネットマスク：
 「255.255.255.0」を入力してください。
- 3 「**OK**」をクリックする
- 4 次ページの「**ネットdeナビの設定**」に進む

ネットdeナビの設定

ネットdeナビの設定中にブラウザの「戻る」ボタンを押さないでください。「戻る」ボタンを使うと、設定や表示が正しく行われない場合があります。

1 ネットdeナビ対応のブラウザを起動する

2 アドレスに「http://DBR-Z420」または「http://DBR-Z410」を入力して、「Enter」キーを押す

- アドレスには、お使いの機種名を入力してください。
- MAC OS Xの場合や、上記をアドレスに入力してもネットdeナビが起動しない場合は、**OSキー**を押し、【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットワークステータス表示】で表示されている本機のIPアドレスを上記アドレスの代わりに入力してください。



この数値をブラウザのアドレスバー（http://）に続けて入力してください。

デバイス名前を変更している場合

アドレスバー（http://）に続けてデバイス名前を入力してください。

- デバイス名を確認するには、**OSキー** → 【本体設定】→【ネットワーク設定】→【ネットdeナビ/レグザリンク連携設定】→【デバイス名】でご確認ください。

3 「ネットdeナビ設定」をクリックする

4 「メール録画予約機能」を設定する

5 設定が終わったら、「登録」をクリックする

- 確認画面が表示されるので、「OK」をクリックしてください。

お知らせ

- ネットdeナビの操作方法は、以下のホームページをご覧ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

メール録画予約機能の設定

メール録画予約機能	メール録画予約機能を使うかどうかを設定します。
メール予約パスワード	予約メールとして判別するためのパスワードを設定します。

POP3 サーバアドレス	ご利用のプロバイダーのPOP3サーバアドレスを設定します。
POP3 ユーザー名	ご利用のプロバイダーのPOP3サーバにアクセスするときのユーザー名を設定します。
POP3 パスワード	ご利用のプロバイダーのPOP3サーバにアクセスするときのパスワードを設定します。
APOP	APOPを使うかどうかを設定します。
電源ON時のPOP3アクセス間隔	予約メールをチェックする時間の間隔（5分～120分）を設定します。（電源「入」時）
電源OFF時のPOP3アクセス時間の分	予約メールを2時・5時・8時・11時・14時・17時・20時・23時にチェックする「分」を設定します。（電源「切」時）
メール録画予約時アドレスフィルタリング	予約メールのフィルタリングをするかしないかを設定します。
フィルタアドレス	フィルタリングで受け付ける予約メールのアドレスを設定します。
メール通知機能	メール録画予約が完了したときの通知方法を設定します。
失敗しそうな予約の通知	録画に失敗しそうな予約をメールで知らせるかどうかを設定します。（本機能は目安です。失敗しそうな予約すべてをお知らせするものではありません。）
おまかせ自動予約の通知	「おまかせ自動録画」の録画予約をメールで知らせるかどうかを設定します。
SMTPサーバアドレス	SMTPサーバのアドレスを設定します。
SMTPサーバポート番号	SMTPサーバのポート番号を設定します。
SMTPサーバ認証	SMTPサーバの認証方法を設定します。
SMTP ユーザー名	SMTPサーバのユーザー名を設定します。
SMTP パスワード	SMTPサーバのパスワードを設定します。
メールアドレス	プロバイダーのメールサービスのメールアドレスを設定します。
メール通知用の指定アドレス	メール録画予約の完了をお知らせするメールアドレスを設定します。

その他の設定

MACアドレス	MACアドレスを表示します。
---------	----------------

お知らせ

- ご利用のプロバイダーによっては、メール予約ができない場合があります。
- ルーターによっては、DHCPによって割り振られるIPアドレスが頻繁に変わる場合があります。
- プロキシが設定されていると、アクセスできない場合があります。
- 本機側が動作中のときは、ネットdeナビが操作できても設定できない場合があります。

レグザリンク機能について

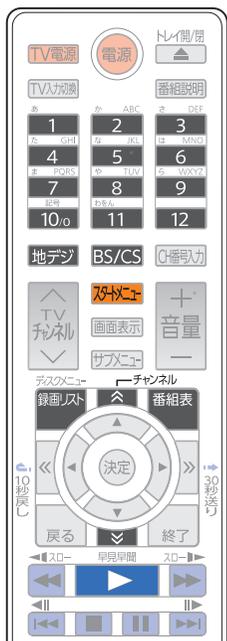
レグザリンク・コントローラとは？

レグザリンク機能とは、HDMI CEC (Consumer Electronics Control)を使用したHDMIで規格化されているテレビなどを制御するための機能です。CEC規格に準拠した機器と接続したときは、一部の連動操作が行えますが、当社製レグザリンク対応のREGZAシリーズ機種以外については動作を保証するものではありません。

- HDMI CECは、HDMIケーブルで接続することにより、対応機器間の相互連動動作を可能にした業界標準規格です。

以下のような連動動作ができます。(操作の手間が省けて便利です。)

- 本機の電源を入れて以下の操作を行うと、テレビが自動的に本機が接続されているHDMI入力に切り換わります。



- テレビの番組表を使って、本機に録画予約できます。
- HDDやディスクを再生視聴中にテレビのチャンネルを変更すると、再生していたHDDやディスクは自動的に停止状態になります。
- テレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。ただし、HDDやディスクのいずれかが録画中の場合や、本機が起動処理中の場合は電源が切れません。

レグザリンク対応のREGZA シリーズ機種について

対応機種については、当社ホームページでご確認ください。
http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

- 他社のHDMI CEC対応機器で、本機と部分的に連動動作する場合がありますが、レグザリンク対応機種以外はその動作を保証するものではありません。
- 接続機器によってはお客様の意図しない動作をする場合があります。このようなときは【レグザリンク・コントローラ】を【切】にしてください。(操 94頁 をご覧ください。)

レグザリンク機能を設定する

レグザリンク機能を使うには、以下の手順で【レグザリンク・コントローラ】の設定を【入】にしてください。

》 準備

- 本機と当社製レグザリンク対応テレビを HDMI ケーブルでつないでおく (12頁)
- テレビ側でレグザリンクの設定をしておく (詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。)

- 1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶ で【本体設定】を選んで **決定** を押す
- 2 ▲・▼・◀・▶ で【HDMI接続設定】→【レグザリンク・コントローラ】を選んで **決定** を押す
- 3 ▲・▼ で【入】を選んで **決定** を押す (操 94頁 をご覧ください。)



- 【レグザリンク・コントローラ】はテレビではレグザリンク(HDMI連動)と呼んでいる場合があります。

レグザリンクダビングとは？

本機能に対応している東芝製テレビで録画した映像を、ネットワークを使って本機に送り、ダビングするものです。対応機種については、当社ホームページでご確認ください。

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

- 操作について詳しくは、(操 80頁) をご覧ください。
- テレビの設定や操作について、詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

LANケーブルで接続する

- 1 本機とテレビをLANケーブルで接続する (42頁)
- 2 【ネットワーク接続設定】を設定する (46頁)
- 3 【LAN (レグザリンク)連携設定】を設定する (50頁)
- 4 【レグザリンクシェア設定】を設定する (50頁)
- 5 テレビ側で必要な設定をする
 - 詳しくは、接続するテレビの取扱説明書をご覧ください。

ソフトウェアの更新について

お買い上げ後、本機をより快適な環境でお使いいただくために、当社が本機内部のソフトウェア(制御プログラム)を改良版として公開する場合があります。ソフトウェアを更新するには、以下の方法があります。

- デジタル放送電波を使って更新する
- サーバーを使って更新する

ソフトウェア更新中は、電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの書き込みが中断され、本機が正常に動作しなくなるおそれがあります。動作しなくなったときは、「東芝DVDインフォメーションセンター」(裏表紙)にご連絡ください。

デジタル放送電波を使って更新する

本機の電源が「切」のときにデジタル放送電波を使ってソフトウェアをダウンロードし、自動的に最新のソフトウェアに更新します。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶で【本体設定】を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【はじめての設定/その他】→【ソフトウェアの更新】→【放送波による自動更新】を選んで **決定** を押す

3 ▲・▼で【自動更新する】を選んで **決定** を押す

- ダウンロードが実施されると、【お知らせメール】が届きます。**操90**
- 設定が終わったら、**終了** を押してください。

ご注意

- 以下の場合、ソフトウェアを自動更新できません。
 - 電源プラグが抜けている
 - 悪天候などにより受信状態が悪い
 - 本機の電源が入っている
 - ダウンロード更新時刻と録画予約が重なっている
- 本機のバージョンアップは、本機の電源が「切」時に行われます。
- ダウンロード中に本機を操作すると、ダウンロードは中止されます。

サーバーを使って更新する

インターネットを使って東芝サーバーからソフトウェアをダウンロードし、ソフトウェアを更新します。

(ソフトウェアが更新されていないときは、ダウンロードされません。)

地上デジタル放送、BS・110度CSデジタル放送をご利用でない方は、サーバーを使って更新してください。

1 **メニュー** を押し、▲・▼・◀・▶で【本体設定】を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼・◀・▶で【はじめての設定/その他】→【ソフトウェアの更新】→【ネットワークによる更新】を選んで **決定** を押す

- 確認画面が2回表示されるので、▲・▼で【はい】を選んで **決定** を押してください。
- ソフトウェアが最新のときは確認画面が表示されるので、**決定** を押してください。

ご注意

- 以下の場合、ソフトウェアをダウンロードできません。
 - 録画中
 - ダビング中
- ソフトウェアを更新中は、他機への配信が停止されます。
- ソフトウェアのダウンロード中に録画予約が始まると、ダウンロードを中止します。

お知らせ

- ダウンロードを行い、ソフトウェアを更新した後は、本書と本機で画面や文言が一致なくなることがあります。
- ソフトウェア更新中は本機前面のHDDランプが点滅(青)します。

使用上のお願い

免責事項について

- 火災、地震や雷などの自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた障害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な障害（事業利益の損失、事業の中断）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアなどの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップ（操作不能）などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。

インターネットの接続制限機能について

- 本機には、インターネットサービスを利用する際に、お子様などに見せたくないコンテンツへのアクセスを制限する機能を搭載しています。
詳しくは、**操95**をご覧ください。

HDD(内蔵ハードディスク)およびUSB-HDD(外付けハードディスク)についての重要なお願い

- 本機にはハードディスク(HDD)が内蔵されていますが、USB-HDDを本機に接続して使用することもできます。
- HDDは衝撃や振動、温度などの周囲の環境の変化による影響を受けやすく、記録されているデータが損なわれることがありますので以下のことに気を付けてください。
 - 振動や衝撃を与えないでください。(特に動作中)
 - 振動する場所や不安定な場所で使用しないでください。
 - 本機は水平に置いてください。USB-HDDは、メーカーの指示に従って置いてください。
 - 背面の内部冷却用ファンの通風孔を、ふさがないでください。
 - 温度の高いところや急激な温度変化のある場所では使用しないでください。
 - 電源を入れたままの状態でも電源プラグをコンセントから抜かないでください。
 - 録画や再生の動作中に電源プラグをコンセントから抜いたり、本機設置場所のプレーカーを落としたりしないでください。電源プラグは、必ず電源ボタンを押して、終了処理が終わり、完全に電源が切れてから抜いてください。録画中に電源プラグを抜いたりプレーカーを落としたりすると、これまで記録されたデータはすべて失われることがあります。
 - 衝撃・振動・誤動作および故障や修理などによって生じた記録データの損壊、喪失について、当社は一切の責任を負いません。
- HDDは非常に精密な機器で、使用状況によっては部分的な破損や、最悪の場合データの読み書きができなくなるおそれも十分にあります。このためHDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではなく、あくまでも一度見るまでの、または編集したあとに、ディスクなどにダビングするまでの、一時的な保管場所として使用してください。また、HDD内に壊れかけている部分がある状態で録画した場合には、その部分にブロックノイズ(四角いノイズ)が出たり、音声の乱れが発生することがあります。そのまま放置すると、ノイズや乱れが激しくなってきた、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまうおそれがあります。こうした現象が見られたら、できるだけ早い時期に各ディスクにダビングしてください。パソコンと同様に、HDDは壊れやすい要因を多分に含んだ非常に精密な機器です。ディスクなどへのバックアップを前提のうでで使用してください。

日本国内用です

- 本機を使用できるのは日本国内だけです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。
This recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

取扱いに関すること

- 非常時を除いて、電源が入っている状態では絶対に電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 【瞬速起動】を設定している時間帯は電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因となります。
- 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃や振動を与えないでください。
- 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりする原因となります。
- たばこの煙や煙を出すタイプの殺虫剤、ほこりなどが機器内部に入ると故障の原因になります。
- 長時間で使用になっていると上面や背面が多少熱くなりますが、故障ではありません。
- 本機は精密電子機器です。長くご愛用いただくためにできるだけ丁寧に取り扱いってください。

使用しないときは

- ふだん使用しないとき
ディスクを取り出し、電源を切ってください。
- 長期間使用しないとき
電源プラグを抜いてください。

置き場所に関すること

- 本機は水平で安定した場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクがはずれるなどして、故障の原因となります。本機を設置する場所は、本機の重さが十分に耐えられることを確認してください。また本機が落下した場合に、けがの原因となるため、高い場所への設置はしないでください。
- 本機をテレビやラジオなどの近くに置く場合には、本機を使用中、組み合わせによっては画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような症状が発生した場合はテレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- 直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど温度が高くなる場所や、熱源になるような機器の上には置かないでください。故障の原因になります。

お手入れに関すること

- お手入れの際は、本機の電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本機の汚れは柔らかい布(ガーゼ等)で軽く拭き取ってください。ティッシュペーパーや硬い布は使わないでください。
- ベンジンやシンナー等有機溶剤、石油類は絶対に使用しないでください。本機表面を変質させます。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた弱い中性洗剤を柔らかい布に含ませ、固く絞った後に拭き取ります。中性洗剤を使って拭いた後は、温수에浸した布を固く絞って、中性洗剤を拭き取ってください。また、拭き取るときは、本体に水が入らないように、十分注意してください。

クリーニングディスクについて

- 市販のレンズクリーナーやレンズクリーニングディスクは、本機では使わないでください。

アンテナについて

- 画像や音声はアンテナの電波受信状況によって大きく左右されます。
- 本機を接続した場合、電波の弱い地域では、受信状態が悪くなる場合があります。この場合は購入店にご相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをご使用になる場合は、アンテナブースターの説明書をご覧ください。
- 設置場所や電波障害の影響がある場合には改善されません。
- 接続ケーブルやコネクターの接触不良が無いように十分確認してください。

地上デジタル放送について

- 地上デジタル放送を受信するには、本機のほかに地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。(ほかに混合器や分波器が必要な場合もあります。)
- 地上デジタル放送の特長
 - ① デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質・多チャンネル放送
 - ② 高音質放送 (MPEG-2 AAC 方式)
 - ③ ゴーストの影響を受けにくいので、画像が鮮明
 - ④ データ放送や双方向通信サービス (通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。また、インターネット回線を使った双方向通信サービスによって、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。)
 - ⑤ 移動体受信・部分受信サービス (本機では部分受信サービスは受信できません。)

使用上のお願い・つづき

放送、通信サービスについて

- 放送や通信サービス(インターネットを利用した映像配信サービス、その他の放送・通信サービスなど)は、予告なしに放送事業者や通信事業者などによって一時的に中断されたり、内容が変更されたり、サービス自体が終了されたりする場合があります。あらかじめ、ご了承ください。

ディスクトレイについて

- ディスクトレイの開閉は、本機またはリモコンのボタン操作で行ってください。手で押して閉じたり、動いているディスクトレイに触れたりすると、故障の原因になります。
- 本機で再生できないディスクやディスク以外のものをディスクトレイに入れないでください。また、ディスクトレイ上から押し下たり、ものを置いたりしないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに入れられるのは1枚だけです。2枚など、複数のディスクを入れると故障の原因となります。
- ディスクトレイの開閉時に異常がある場合は、保護機能によって自動的に止まります。
- 本機で使用したときに異常を示すメッセージが出るディスクを、本機以外の機器で使用すると、ディスク内部のデータを破損し、再生できなくなることがありますので、ご注意ください。

音量について

- 市販のBD/DVD-Videoの中には、音量が音楽CDなどの他のソフトよりも小さく感じられる場合があります。これらのディスクの再生のためにテレビやアンプ側の音量を上げたときには、再生が終わったあとに必ず音量を下げてください。

たいせつな録画・録音・編集について

- たいせつな録画・録音・編集の場合は、事前に試し録画・録音・編集を行い、正しくできることを確かめておいてください。本機およびディスクを使用中、万一何らかの不具合によって、録画・録音・編集されなかった場合の内容の補償および付随的な損害(事業利益の損失、事業の中断など)に対して、当社は一切の責任を負いません。
- 本機の動作中に電源プラグを抜くと、記録内容がすべて消える場合がありますので、ご注意ください。
- 悪天候による電波の受信状態や、放送チャンネルおよび番組によっては、映像が乱れたり、音が割れたり、とんだりすることがあります。
- 放送番組によっては録画制限(録画禁止など)があるものがあります。この場合、予約をしても録画が実行できない場合があります。
- たいせつな録画をされたディスクの定期的なバックアップをおすすめします。ディスクの経年変化によってはデジタル信号が読み出せなくなったり、消えてしまったりする場合があります。ただし、著作権保護のため1回だけ録画が可能な番組(コピーワンスプログラム)などの録画はバックアップをとることはできません。

停電について

- 本機の録画中に停電があった場合その内容は保存されない場合があります。また、録画以外の操作をしているときに停電があった場合も、保存済みの内容が読み出せなくなることがあります。
- USB-HDD への予約録画中に停電があった場合、接続機器によっては停電復帰後の予約録画の続きはHDD へ録画する場合があります。

本機前面の電源ランプが点灯(橙)したときは

- デジタル放送用の番組表の番組情報を取得中、またはダウンロード更新中です。
- 番組情報や番組データを取得中以外にも、情報整理をするために点灯することがあります。
- 番組情報や番組データを取得中は、冷却用ファンが回るなどで動作音が大きくなりますが、故障ではありません。

再生するときの制約

- 付属の取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。市販のBD/DVD-Videoなどは、ディスク制作者側の意図で再生状態が決められていることがあります。本機はディスク制作者が意図した内容に従って再生をするため、操作したとおりに動作しないことがあります。再生するディスクに付属の説明書もご覧ください。
- ボタン操作中にテレビ画面に【Ⓢ】が表示されることがあります。【Ⓢ】が表示されたときは、現在本機もしくはディスクがその操作を行えないことを示します。
- 著作権保護技術の制限により、コンテンツによっては映像出力端子から再生画が出力されない場合があります。再生画をご覧になりたい場合は、本機とテレビをHDMIケーブルで接続してください。著作権保護技術の制限に関連し、ソフトウェアの更新により制限内容が更新される場合があります。

録画・録音するときの制約

- 本機では、DVDには直接録画できません。
- 市販されているコピーが禁止されたBD/DVD-Video、音楽用CDの内容を、本機でコピーできません。
- 録画・録音が制限されていないものは、個人使用の範囲内だけで、コピーや編集ができます。1回だけ録画が可能な映像(コピーワンス)や複数回コピー可能な映像(ダビング10)※1は、HDD、USB-HDD(外付け)またはBD-RE/-Rに録画できますが、DVD-RW/-R(ビデオフォーマット)への録画はできません。(CPRM※2対応のDVD-RW/-R(VRフォーマット/AVCREC™フォーマット)にはダビングできます。)BD/DVD-Videoにはダビング(移動やコピー)できません。HDDに録画したコピーワンスの映像は、USB-HDD(外付け)やBD-RE/-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW/-R(VRフォーマット/AVCREC™フォーマット)へのダビング(移動)は可能ですが、ダビング(コピー)はできません。HDDに録画したダビング10番組は、USB-HDD(外付け)やBD-RE/-RまたはCPRM※2対応のDVD-RW/-R(VRフォーマット/AVCREC™フォーマット)へのダビング(移動またはコピー)が可能ですが、回数制限があります。コピーワンス、ダビング10ともにダビングの際やその他の編集制限があります。

※1 ダビング10および条件については、**61**をご覧ください。

※2 CPRMや各ディスクについては、**操78**、**操98**をご覧ください。

ソフトウェアの変更について

- 本機は品質について万全を期しておりますが、本機内部のソフトウェアを変更して、品質や性能をさらに改善する場合があります。その場合、ユーザー登録をしていたお客様にはご案内をさせていただきますので、ユーザー登録にご協力いただきますよう、お願いいたします。
- 本機の【放送波による自動更新】を【自動更新する】の状態に設定しておくと、放送電波(地上デジタル放送またはBSデジタル放送を受信できる環境と設定が必要です)の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。(お買い上げ時は、【自動更新する】の状態に設定されています。)
- ソフトウェアのバージョンアップや「自動ダウンロード」については、**55**をご覧ください。ソフトウェアのバージョンアップ中は電源を切ったり電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。

HDMI連動機能(レグザリンク機能)について

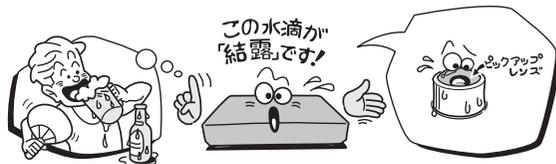
- 推奨機器以外の機器を本機のHDMI出力端子に接続した場合に、本機がHDMI連動対応機器として認識し、一部の連動操作ができることがあります。その動作については保証いたしかねます。

インターネット機能について

- インターネットの利用には、ADSL、ケーブルテレビなどのインターネット回線事業者および接続業者(プロバイダー)との契約が必要です。契約、費用などについては、お買い上げの販売店または接続業者などにご相談ください。
- 本機でインターネットが使用できるのは、イーサネット通信のみです。ダイヤルアップやISDNなどには対応していません。
- 回線の接続環境や接続先のサーバーの状況などによっては、正しく動作しない場合があります。

結露(露付き)について

- 結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。例えば、よく冷えたビールをコップにつくと、コップの表面に水滴がつきます。これを“結露(露付き)”といいます。この現象と同じように、本機の内部のピックアップレンズや部品、部品内部などに水滴がつくことがあります。

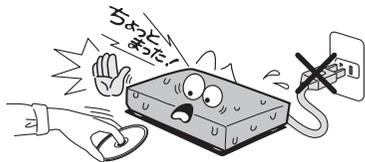


- “結露”はこんなときおきます
 - 本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき
 - 暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところに置いたとき
 - 夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動したとき
 - 湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋に置いたとき



結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください

- 結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。結露がおきた状態では電源プラグをコンセントに挿入しないでください。



使用上のお願い・つづき

本機の廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- 本機には、各種機能の設定時に入力したお客様の個人情報（録画100分）が記録されます。本機を廃棄・譲渡などする場合には、各種「本機を初期化する」メニュー（録100分）を行い、パスワードや個人情報なども含めて、初期化することをおすすめします。なお、放送番組などを録画・保存したままに譲渡すると、著作権を侵害するおそれがありますのでご注意ください。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、または故障・修理のときなどに本機に保存されたデータなどが変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は責任を負いません。
- miniB-CASカードの廃棄に関しては「B-CASカード使用許諾契約約款」に従ってください。

著作権について

- ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。
- 本機は、Rovi Corporationならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用はRovi Corporationの認可が必要であり、Rovi Corporationの認可なしでは、一般家庭用または他のかぎられた視聴用だけに使用されるようになっています。改造または分解は禁止されています。
- 本機は、コピーガード（複製防止）機能を搭載しており、著作権者などによって複製を制限するコピー制御信号が記録されているソフトや放送番組を録画することはできません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。

- Blu-ray Disc™（ブルーレイディスク）、Blu-ray™（ブルーレイ）、Blu-ray 3D™（ブルーレイ3D）、BD-Live™、BONUSVIEW™、BDXL™、AVCREC™及び関連ロゴはブルーレイディスク アソシエーションの商標です。



- “DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。



- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfacelは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。



- Oracle と Javaは、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。



- “AVCHD 3D/Progressive” および “AVCHD 3D/Progressive” ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。



- “x.v.Color” および “x.v.Color” ロゴは、ソニー株式会社の商標です。



- For DTS patents, see <http://patents.dts.com>. Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, DTS-HD, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS-HD Master Audio I Essential is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.



- 本製品は、AVC Patent Portfolio License およびVC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客さまが個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。

- AVC 規格に準拠する動画を記録する場合
- 個人的かつ非営利活動に従事する消費者によって記録されたAVC 規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生する場合
- ライセンスを受けた提供者から入手されたAVC 規格に準拠する動画およびVC-1 規格に準拠する動画を再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLC
(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。

- 本製品は、株式会社ACCESSのNetFront Browserを搭載しています。ACCESS、ACCESSロゴ、NetFrontは、株式会社ACCESSの日本国、米国その他の国・地域における商標または登録商標です。

© 1996-2013 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.

本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。

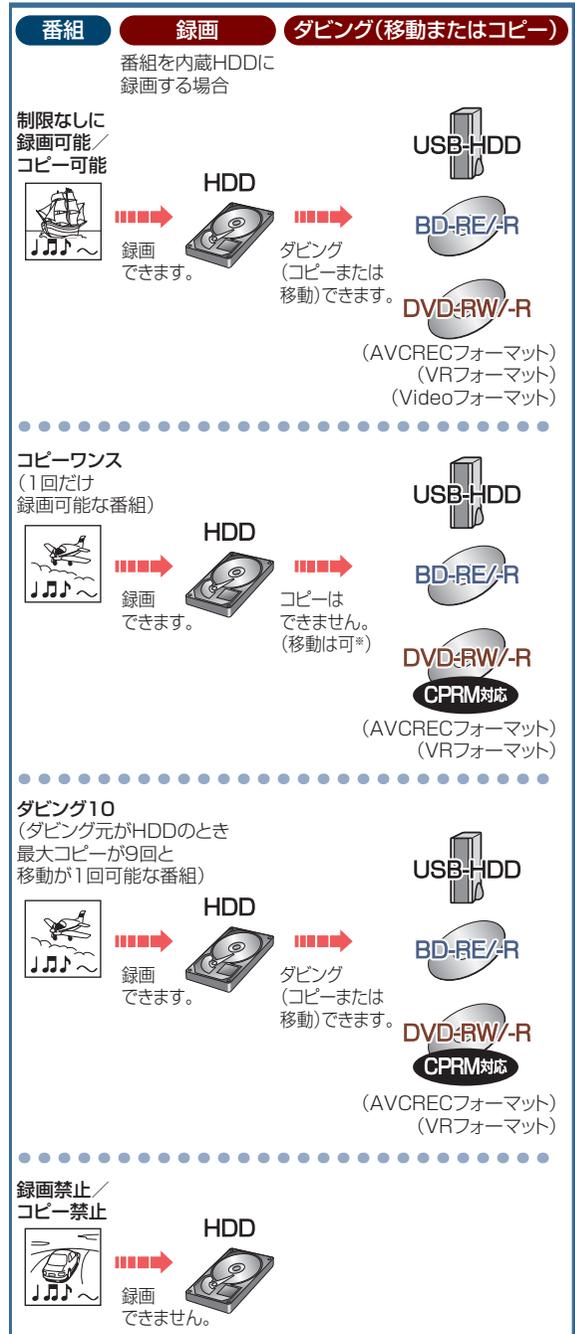


NetFront® Browser DTV Profile

- この製品はVerance Corporation (ベランス・コーポレーション)のライセンス下にある占有技術を含んでおり、その技術の一部の特徴は米国特許第7,369,677号など、取得済みあるいは申請中の米国および全世界の特許や、著作権および企業秘密保護により保護されています。CinaviaはVerance Corporationの商標です。Copyright 2004-2013 Verance Corporation. すべての権利はVeranceが保有しています。リバース・エンジニアリングあるいは逆アセンブルは禁じられています。
- その他に記載されている会社名、ブランド名、ロゴ、製品名、機能名などは、それぞれの会社の商標または登録商標です。

ダビング10番組について

本機では、DVDには直接録画できません。ダビング10番組(以下、ダビング10)とは、デジタル放送でダビング元がHDDのときに、ダビングが最大10回(コピー9回と移動1回)できる番組のことです。



- 2004年5月から、地上/BSデジタル放送の番組が、コピー制限のある番組とされています。

※ ダビングについて詳しくは、**操69**～**操79**をご覧ください。

アスペクト比(画面比)について

アスペクト比とは、映像を構成する画面(映像)サイズの幅と高さの比で、4:3放送とワイド(16:9)放送があります。

本機と接続するテレビに合わせて、**OSD** を押し、【本体設定】の【TV画面選択】を設定してください。**操 92**

- 16:9のテレビに接続するときは、HDMIケーブルで接続してください。

接続するテレビ	【TV画面選択】	画面の見えかた (上:4:3放送の場合、下:ワイド放送の場合)
 <p>16:9のテレビ</p>	【4:3レターボックス】	 画面全体に表示します。
		 上下方向に黒い帯を表示します。
	【4:3パンスキャン】	 画面全体に表示します。
		 左右を一部カットして表示します。
	【16:9ワイド】	 画面全体に表示します。
		 正しく表示します。
 <p>4:3のテレビ</p>		 4:3を維持して、縮小表示します。
		 正しく表示します。
	【4:3レターボックス】	 正しく表示します。
		 上下方向に黒い帯を表示します。
	【4:3パンスキャン】	 正しく表示します。
		 左右を一部カットして画面全体に表示します。
	【16:9ワイド】	 正しく表示します。
		 16:9を4:3に縮小表示します。
	 縮小表示します。	
	 16:9を4:3に縮小表示します。	

- 16:9テレビに接続するときは【16:9シュリンク】に設定することをおすすめします。
- 4:3テレビに接続するときは、【4:3レターボックス】に設定することをおすすめします。

お知らせ

- HDMI 端子から 1080i/720p/1080p/1080p24 で出力している場合は、【TV画面選択】の設定に関わらず、【16:9シュリンク】のみ有効になります。
- 市販のBD/DVD-Video再生時は、設定に関わらず、4:3パンスキャンでも、4:3レターボックスとして表示されることがあります。
- 放送内容や再生する番組(タイトル)によっては、この表のとおり映像が表示されない場合があります。

本機で使われるソフトウェアのライセンス情報

本内容はライセンス情報のため、操作には関係ありません。

本機に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

本機は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知（以下、「EULA」といいます）に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントのお問い合わせに関しては、以下のホームページをご覧ください。どうぞお願いいたします。

ホームページアドレス

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

また、本機のソフトウェアコンポーネントには、本機用に開発または作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェアおよびそれに付帯したドキュメント類には、著作権法、国際条約条項および他の準拠法によって保護されています。

なお、「EULA」の適用を受けない本機用に作成したソフトウェアコンポーネントは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた本機は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、「as is」（現状）の状態、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理・訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、または書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更・再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、または使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます（データの消失、またはその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません）。当該ソフトウェアコンポーネントの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

本機に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文を記載します。

本機で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント 原文

Program name	EULA	Program name	EULA	Program name	EULA	Program name	EULA
Linux	Exhibit A	gmp	Exhibit B	libxml2	Exhibit E	libcurl	Exhibit F
busybox	Exhibit A	eglibc	Exhibit B	cURL	Exhibit E	libpng	Exhibit F
dhcpcd	Exhibit A	Oniguruma	Exhibit C	Free Type	Exhibit F		
wpa_supplicant	Exhibit A	libevent	Exhibit C	LibJPEG	Exhibit F		
e2fsprogs	Exhibit A	dtoa	Exhibit C	Open SSL	Exhibit F		
libwebsockets	Exhibit A	picojson	Exhibit C	Vera Fonts	Exhibit F		
libiconv	Exhibit A	universalchardet	Exhibit D	SQLite	Exhibit F		
DirectFB	Exhibit B	expat	Exhibit E	zlib	Exhibit F		

- Reverse engineering, disassembling, decompiling, dismantling, or otherwise attempting to analyze or modify the software included in this product is prohibited.

Exhibit A

GPL

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole to all third parties under the terms of this License.
- If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both of them and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

one line to give the program's name and an idea of what it does.
Copyright (C) yyyy name of author

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301, USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items—whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yooyodine, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

signature of Ty Coon, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Exhibit B

LGPL

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software—to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages—typically libraries—of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

参考資料・つづき

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- The modified work must itself be a software library.
- You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
- If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not.

Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a Library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library 'Frob' (a library for tweaking knobs) written by James March Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

Exhibit C

BSD

Copyright (c) 2002, Xiph.org Foundation

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Exhibit D

MPL

MOZILLA PUBLIC LICENSE

Version 1.1

1. Definitions.

1.0.1. "Commercial Use" means distribution or otherwise making the Covered Code available to a third party.

1.1. "Contributor" means each entity that creates or contributes to the creation of Modifications.

1.2. "Contributor Version" means the combination of the Original Code, prior Modifications used by a Contributor, and the Modifications made by that particular Contributor.

1.3. "Covered Code" means the Original Code or Modifications or the combination of the Original Code and Modifications, in each case including portions thereof.

1.4. "Electronic Distribution Mechanism" means a mechanism generally accepted in the software development community for the electronic transfer of data.

1.5. "Executable" means Covered Code in any form other than Source Code.

1.6. "Initial Developer" means the individual or entity identified as the Initial Developer in the Source Code notice required by Exhibit A.

1.7. "Larger Work" means a work which combines Covered Code or portions thereof with code not governed by the terms of this License.

1.8. "License" means this document.

1.8.1. "Licensable" means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently acquired, any and all of the rights conveyed herein.

1.9. "Modifications" means any addition to or deletion from the substance or structure of either the Original Code or any previous Modifications. When Covered Code is released as a series of files, a Modification is:

A. An addition to or deletion from the contents of a file containing Original Code or previous Modifications.

B. Any new file that contains any part of the Original Code or previous Modifications.

1.10. "Original Code" means Source Code of computer software code which is described in the Source Code notice required by Exhibit A as Original Code, and which, at the time of its release under this License is not already Covered Code governed by this License.

1.10.1. "Patent Claims" means any patent claim(s), now owned or hereafter acquired, including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by grantor.

1.11. "Source Code" means the preferred form of the Covered Code for making modifications to it, including all modules it contains, plus any associated interface definition files, scripts used to control compilation and installation of an Executable, or source code differential comparisons against either the Original Code or another well known, available Covered Code of the Contributor's choice. The Source Code can be in a compressed or archival form, provided the appropriate decompression or de-archiving software is widely available for no charge.

1.12. "You" (or "Your") means an individual or a legal entity exercising rights under, and complying with all of the terms of, this License or a future version of this License issued under Section 6.1.

For legal entities, "You" includes any entity which controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, "control" means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. Source Code License.

2.1. The Initial Developer Grant.

The Initial Developer hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license, subject to third party intellectual property claims:

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Initial Developer to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Original Code (or portions thereof) with or without Modifications, and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patents Claims infringed by the making, using or selling of Original Code, to make, have made, use, practice, sell, and offer for sale, and/or otherwise dispose of the Original Code (or portions thereof).

(c) the licenses granted in this Section 2.1(a) and (b) are effective on the date Initial Developer first distributes Original Code under the terms of this License.

(d) Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted: 1) for code that You delete from the Original Code; 2) separate from the Original Code; or 3) for infringements caused by: i) the modification of the Original Code or ii) the combination of the Original Code with other software or devices.

2.2. Contributor Grant.

Subject to third party intellectual property claims, each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license

(a) under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by Contributor, to use, reproduce, modify, display, perform, sublicense and distribute the Modifications created by such Contributor (or portions thereof) either on an unmodified basis, with other Modifications, as Covered Code and/or as part of a Larger Work; and

(b) under Patent Claims infringed by the making, using, or selling of Modifications made by that Contributor either alone and/or in combination with its Contributor Version (or portions of such combination), to make, use, sell, offer for sale, have made, and/or otherwise dispose of: 1) Modifications made by that Contributor (or portions thereof); and 2) the combination of Modifications made by that Contributor with its Contributor Version (or portions of such combination).

(c) the licenses granted in Sections 2.2(a) and 2.2(b) are effective on the date Contributor first makes Commercial Use of the Covered Code.

(d) Notwithstanding Section 2.2(b) above, no patent license is granted: 1) for any code that Contributor has deleted from the Contributor Version; 2) separate from the Contributor Version; 3) for infringements caused by: i) third party modifications of Contributor Version or ii) the combination of Modifications made by that Contributor with other software (except as part of the Contributor Version) or other devices; or 4) under Patent Claims infringed by Covered Code in the absence of Modifications made by that Contributor.

3. Distribution Obligations.

3.1. Application of License.

The Modifications which You create or to which You contribute are governed by the terms of this License, including without limitation Section 2.2. The Source Code version of Covered Code may be distributed only under the terms of this License or a future version of this License released under Section 6.1, and You must include a copy of this License with every copy of the Source Code You distribute. You may not offer or impose any terms on any Source Code version that alters or restricts the applicable version of this License or the recipients' rights hereunder. However, You may include an additional document offering the additional rights described in Section 3.5.

3.2. Availability of Source Code.

Any Modification which You create or to which You contribute must be made available in Source Code form under the terms of this License either on the same media as an Executable version or via an accepted Electronic Distribution Mechanism to anyone to whom you made an Executable version available; and if made available via Electronic Distribution Mechanism, must remain available for at least twelve (12) months after the date it initially became available, or at least six (6) months after a subsequent version of that particular Modification has been made available to such recipients. You are responsible for ensuring that the Source Code version remains available even if the Electronic Distribution Mechanism is maintained by a third party.

3.3. Description of Modifications.

You must cause all Covered Code to which You contribute to contain a file documenting the changes You made to create that Covered Code and the date of any change. You must include a prominent statement that the Modification is derived, directly or indirectly, from Original Code provided by the Initial Developer and including the name of the Initial Developer in (a) the Source Code, and (b) in any notice in an Executable version or related documentation in which You describe the origin or ownership of the Covered Code.

3.4. Intellectual Property Matters

(a) Third Party Claims.

If Contributor has knowledge that a license under a third party's intellectual property rights is required to exercise the rights granted by such Contributor under Sections 2.1 or 2.2, Contributor must include a text file with the Source Code distribution titled "LEGAL" which describes the claim and the party making the claim in sufficient detail that a recipient will know whom to contact. If Contributor obtains such knowledge after the Modification is made available as described in Section 3.2, Contributor shall promptly modify the LEGAL file in all copies Contributor makes available thereafter and shall take other steps (such as notifying appropriate mailing lists or newsgroups) reasonably calculated to inform those who received the Covered Code that new knowledge has been obtained.

(b) Contributor APIs.

If Contributor's Modifications include an application programming interface and Contributor has knowledge of patent licenses which are reasonably necessary to implement that API, Contributor must also include this information in the LEGAL file.

(c) Representations.

Contributor represents that, except as disclosed pursuant to Section 3.4(a) above, Contributor believes that Contributor's Modifications are Contributor's original creation(s) and/or Contributor has sufficient rights to grant the rights conveyed by this License.

3.5. Required Notices.

You must duplicate the notice in Exhibit A in each file of the Source Code. If it is not possible to put such notice in a particular Source Code file due to its structure, then You must include such notice in a location (such as a relevant directory) where a user would be likely to look for such notice. If You created one or more Modification(s) You may add your name as a Contributor to the notice described in Exhibit A. You must also duplicate this License in any documentation for the Source Code where You describe recipients' rights or ownership rights relating to Covered Code. You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Code. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of the Initial Developer or any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer.

3.6. Distribution of Executable Versions.

You may distribute Covered Code in Executable form only if the requirements of Section 3.1-3.5 have been met for that Covered Code, and if You include a notice stating that the Source Code version of the Covered Code is available under the terms of this License, including a description of how and where You have fulfilled the obligations of Section 3.2. The notice must be conspicuously included in any notice in an Executable version, related documentation or collateral in which You describe recipients' rights relating to the Covered Code. You may distribute the Executable version of Covered Code or ownership rights under a license of Your choice, which may contain terms different from this License, provided that You are in compliance with the terms of this License and that the license for the Executable version does not attempt to limit or alter the recipient's rights in the Source Code version from the rights set forth in this License. If You distribute the Executable version under a different license You must make it absolutely clear that any terms which differ from this License are offered by You alone, not by the Initial Developer or any Contributor. You hereby agree to indemnify the Initial Developer and every Contributor for any liability incurred by the Initial Developer or such Contributor as a result of any such terms You offer.

3.7. Larger Works.

You may create a Larger Work by combining Covered Code with other code not governed by the terms of this License and distribute the Larger Work as a single product. In such a case, You must make sure the requirements of this License are fulfilled for the Covered Code.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation.

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Code due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be included in the LEGAL file described in Section 3.4 and must be included with all distributions of the Source Code. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Application of this License.

This License applies to code to which the Initial Developer has attached the notice in Exhibit A and to related Covered Code.

6. Versions of the License.

6.1. New Versions.

Netscape Communications Corporation ("Netscape") may publish revised and/or new versions of the License from time to time. Each version will be given a distinguishing version number.

6.2. Effect of New Versions.

Once Covered Code has been published under a particular version of the License, You may always continue to use it under the terms of that version. You may also choose to use such Covered Code under the terms of any subsequent version of the License published by Netscape. No one other than Netscape has the right to modify the terms applicable to Covered Code created under this License.

6.3. Derivative Works.

If You create or use a modified version of this License (which you may only do in order to apply it to code which is not already Covered Code governed by this License), You must (a) rename Your license so that the phrases "Mozilla", "MOZILLAPL", "MOZPL", "Netscape", "MPL", "NPL" or any confusingly similar phrase do not appear in your license (except to note that your license differs from this License) and (b) otherwise make it clear that Your version of the license contains terms which differ from the Mozilla Public License and Netscape Public License. (Filling in the name of the Initial Developer, Original Code or Contributor in the notice described in Exhibit A shall not of themselves be deemed to be modifications of this License.)

7. DISCLAIMER OF WARRANTY.

COVERED CODE IS PROVIDED UNDER THIS LICENSE ON AN "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, WARRANTIES THAT THE COVERED CODE IS FREE OF DEFECTS, MERCHANTABILITY, FIT FOR A PARTICULAR PURPOSE OR NON-INFRINGEMENT. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE COVERED CODE IS WITH YOU. SHOULD ANY COVERED CODE PROVE DEFECTIVE IN ANY RESPECT, YOU (NOT THE INITIAL DEVELOPER OR ANY OTHER CONTRIBUTOR) ASSUME THE COST OF ANY NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF ANY COVERED CODE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER.

8. TERMINATION.

8.1. This License and the rights granted hereunder will terminate automatically if You fail to comply with terms herein and fail to cure such breach within 30 days of becoming aware of the breach. All sublicenses to the Covered Code which are properly granted shall survive any termination of this License. Provisions which, by their nature, must remain in effect beyond the termination of this License shall survive.

8.2. If You initiate litigation by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions) against Initial Developer or a Contributor (the "Initiator" or Contributor against whom You file such action is referred to as "Participant") alleging that:

(a) such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then any and all rights granted by such Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 of this License shall, upon 60 days notice from Participant terminate prospectively, unless if within 60 days after receipt of notice You either: (i) agree in writing to pay Participant a mutually agreeable reasonable royalty for Your past and future use of Modifications made by such Participant, or (ii) withdraw Your litigation claim with respect to the Contributor Version against such Participant. If within 60 days of notice, a reasonable royalty and payment arrangement are not mutually agreed upon in writing by the parties or the litigation claim is not withdrawn, the rights granted by Participant to You under Sections 2.1 and/or 2.2 automatically terminate at the expiration of the 60 day notice period specified above.

(b) any software, hardware, or device, other than such Participant's Contributor Version, directly or indirectly infringes any patent, then any rights granted to You by such Participant under Sections 2.1(b) and 2.2(b) are revoked effective as of the date You first made, used, sold, distributed, or had made, Modifications made by that Participant.

8.3. If You assert a patent infringement claim against Participant alleging that such Participant's Contributor Version directly or indirectly infringes any patent where such claim is resolved (such as by license or settlement) prior to the initiation of patent infringement litigation, then the reasonable value of the licenses granted by such Participant under Sections 2.1 or 2.2 shall be taken into account in determining the amount or value of any payment or license.

8.4. In the event of termination under Sections 8.1 or 8.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or any distributor hereunder prior to termination shall survive termination.

9. LIMITATION OF LIABILITY.

UNDER NO CIRCUMSTANCES AND UNDER NO LEGAL THEORY, WHETHER TORT (INCLUDING NEGLIGENCE), CONTRACT, OR OTHERWISE, SHALL YOU, THE INITIAL DEVELOPER, ANY OTHER CONTRIBUTOR, OR ANY DISTRIBUTOR OF COVERED CODE, OR ANY SUPPLIER OF ANY OF SUCH PARTIES, BE LIABLE TO ANY PERSON FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY CHARACTER INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, DAMAGES FOR LOSS OF GOODWILL, WORK STOPPAGE, COMPUTER FAILURE OR MALFUNCTION, OR ANY AND ALL OTHER COMMERCIAL DAMAGES OR LOSSES, EVEN IF SUCH PARTY SHALL HAVE BEEN INFORMED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES. THIS LIMITATION OF LIABILITY SHALL NOT APPLY TO LIABILITY FOR DEATH OR PERSONAL INJURY RESULTING FROM SUCH PARTY'S NEGLIGENCE TO THE EXTENT APPLICABLE LAW PROHIBITS SUCH LIMITATION. SOME JURISDICTIONS DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THIS EXCLUSION AND LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

10. U.S. GOVERNMENT END USERS.

The Covered Code is a "commercial item," as that term is defined in 48 C.F.R. 2.101 (Oct. 1995), consisting of "commercial computer software" and "commercial computer software documentation," as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212 (Sept. 1995). Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4 (June 1995), all U.S. Government End Users acquire Covered Code with only those rights set forth herein.

11. MISCELLANEOUS.

This License represents the complete agreement concerning subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. This License shall be governed by California law provisions (except to the extent applicable law, if any, provides otherwise), excluding its conflict-of-law provisions. With respect to disputes in which at least one party is a citizen of, or an entity chartered or registered to do business in the United States of America, any litigation relating to this License shall be subject to the jurisdiction of the Federal Courts of the Northern District of California, with venue lying in Santa Clara County, California, with the losing party responsible for costs, including without limitation, court costs and reasonable attorneys' fees and expenses. The application of the United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods is expressly excluded. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not apply to this License.

12. RESPONSIBILITY FOR CLAIMS.

As between Initial Developer and the Contributors, each party is responsible for claims and damages arising, directly or indirectly, out of its utilization of rights under this License and You agree to work with Initial Developer and Contributors to distribute such responsibility on an equitable basis. Nothing herein is intended or shall be deemed to constitute any admission of liability.

13. MULTIPLE-LICENSED CODE.

Initial Developer may designate portions of the Covered Code as "Multiple-Licensed". "Multiple-Licensed" means that the Initial Developer permits you to utilize portions of the Covered Code under Your choice of the NPL or the alternative licenses, if any, specified by the Initial Developer in the file described in Exhibit A.

EXHIBIT A - Mozilla Public License.

"The contents of this file are subject to the Mozilla Public License Version 1.1 (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at <http://www.mozilla.org/MPL/>

Software distributed under the License is distributed on an "AS IS" basis, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing rights and limitations under the License.

The Original Code is _____.

The Initial Developer of the Original Code is _____.
Portions created by _____ are Copyright (C) _____
_____. All Rights Reserved.

Contributor(s): _____.

Alternatively, the contents of this file may be used under the terms of the _____ license (the "[] License"), in which case the provisions of [] License are applicable instead of those above. If you wish to allow use of your version of this file only under the terms of the [] License and not to allow others to use your version of this file under the MPL, indicate your decision by deleting the provisions above and replace them with the notice and other provisions required by the [] License. If you do not delete the provisions above, a recipient may use your version of this file under either the MPL or the [] License."

[NOTE: The text of this Exhibit A may differ slightly from the text of the notices in the Source Code files of the Original Code. You should use the text of this Exhibit A rather than the text found in the Original Code Source Code for Your Modifications.]

Exhibit E

MIT

Copyright (c)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

expat

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers.

glib

The GLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

Exhibit F

FreeType

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by
David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

参考資料・つづき

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. (as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. (royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. (credits)

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products. We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

```
====
Portions of this software are copyright© <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All
rights reserved.
====
```

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package,' 'FreeType Project,' and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project,' be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'. This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive. If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.
- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project,' 'FreeType Engine,' 'FreeType library,' or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it. Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution. If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

- freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

<http://www.freetype.org>

LibJPEG

LEGAL ISSUES

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided 'AS IS', and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M.I.T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software.

(Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that "The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

OpenSSL

License
This is a copy of the current LICENSE file inside the CVS repository.

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

```
/*  
-----  
Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
```

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

```
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR  
IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF  
MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT  
SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT,  
INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT  
LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR  
PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY,  
WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)  
ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY  
OF SUCH DAMAGE.
```

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSLeay License

```
/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)  
All rights reserved.
```

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, Ihash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed. If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:

"This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related:-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publicly available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]
*/

Vera

Copyright
Copyright (c) 2003 by Bitstream, Inc. All Rights Reserved. Bitstream Vera is a trademark of Bitstream, Inc.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the fonts accompanying this license ("Fonts") and associated documentation files (the "Font Software"), to reproduce and distribute the Font Software, including without limitation the rights to use, copy, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Font Software, and to permit persons to whom the Font Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright and trademark notices and this permission notice shall be included in all copies of one or more of the Font Software typefaces.

The Font Software may be modified, altered, or added to, and in particular the designs of glyphs or characters in the Fonts may be modified and additional glyphs or characters may be added to the Fonts, only if the fonts are renamed to names not containing either the words "Bitstream" or the word "Vera".

This License becomes null and void to the extent applicable to Fonts or Font Software that has been modified and is distributed under the "Bitstream Vera" names.

The Font Software may be sold as part of a larger software package but no copy of one or more of the Font Software typefaces may be sold by itself.

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS"; WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL BITSTREAM OR THE GNOME FOUNDATION BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the names of GNOME, the GNOME Foundation, and Bitstream Inc., shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Font Software without prior written authorization from the GNOME Foundation or Bitstream Inc., respectively. For further information, contact fonts@gnome dot org.

SQLite

SQLite Copyright

All of the deliverable code in SQLite has been dedicated to the public domain by the authors. All code authors, and representatives of the companies they work for, have signed affidavits dedicating their contributions to the public domain and originals of those signed affidavits are stored in a firesafe at the main offices of Hwaci. Anyone is free to copy, modify, publish, use, compile, sell, or distribute the original SQLite code, either in source code form or as a compiled binary, for any purpose, commercial or non-commercial, and by any means.

The previous paragraph applies to the deliverable code in SQLite - those parts of the SQLite library that you actually bundle and ship with a larger application. Portions of the documentation and some code used as part of the build process might fall under other licenses. The details here are unclear. We do not worry about the licensing of the documentation and build code so much because none of these things are part of the core deliverable SQLite library.

All of the deliverable code in SQLite has been written from scratch. No code has been taken from other projects or from the open internet. Every line of code can be traced back to its original author, and all of those authors have public domain dedications on file. So the SQLite code base is clean and is uncontaminated with licensed code from other projects.

Obtaining An Explicit License To Use SQLite

Even though SQLite is in the public domain and does not require a license, some users want to obtain a license anyway. Some reasons for obtaining a license include:

You are using SQLite in a jurisdiction that does not recognize the public domain.
You are using SQLite in a jurisdiction that does not recognize the right of an author to dedicate their work to the public domain.
You want to hold a tangible legal document as evidence that you have the legal right to use and distribute SQLite.
Your legal department tells you that you have to purchase a license.

参考資料・つづき

If you feel like you really have to purchase a license for SQLite, Hwaci, the company that employs the architect and principal developers of SQLite, will sell you one.

Contributed Code

In order to keep SQLite completely free and unencumbered by copyright, all new contributors to the SQLite code base are asked to dedicate their contributions to the public domain. If you want to send a patch or enhancement for possible inclusion in the SQLite source tree, please accompany the patch with the following statement:

The author or authors of this code dedicate any and all copyright interest in this code to the public domain. We make this dedication for the benefit of the public at large and to the detriment of our heirs and successors. We intend this dedication to be an overt act of relinquishment in perpetuity of all present and future rights to this code under copyright law.

We are not able to accept patches or changes to SQLite that are not accompanied by a statement such as the above. In addition, if you make changes or enhancements as an employee, then a simple statement such as the above is insufficient. You must also send by surface mail a copyright release signed by a company officer. A signed original of the copyright release should be mailed to:

Hwaci
6200 Maple Cove Lane
Charlotte, NC 28269
USA

A template copyright release is available in PDF or HTML. You can use this release to make future changes.

zlib

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.7, May 2nd, 2012

Copyright (C) 1995-2012 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

*/

libcurl

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2013, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS"; WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

libpng

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.4.4, September 23, 2010, are Copyright (c) 2004, 2006-2010 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
print("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files "pngbar.png" and "pngbar.jpg (88x31) and "pngnow.png" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

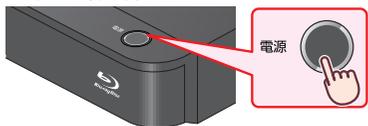
Glenn Randers-Pehrson
glennrp at users.sourceforge.net
23-Sep-10

商品のお問い合わせに関して

リモコンでも本機のボタンでも操作できなくなったときは、以下の操作を試してみてください

① 本機の  を8秒間以上押し続けて、電源を切る

8秒以上押し続ける



② 電源プラグを電源コンセントから抜き、数分間待つ

③ 電源プラグを電源コンセントに差し込む

④ 電源を入れて、動作を確認する

※この操作をしても正常に動作しない場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、修理をご依頼ください。

基本的な取扱方法や故障と思われる場合のご確認

東芝ブルーレイ / DVD <レグザ> お客様サポートページをご覧ください

http://www.toshiba.co.jp/regza/bd_dvd/

商品選びのご相談や、お買い上げ後の基本的な取扱方法、故障と思われる場合のご相談

『東芝DVD インフォメーションセンター』

0120-96-3755

(携帯電話からの
ご利用は)

ナビダイヤル
(通話料: 有料)

0570-00-3755

※間違い電話が増えております。電話番号をよくお確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします。

※フリーダイヤルは携帯電話・PHS など一部の電話ではご利用になれません

(PHS や IP 電話
からのご利用は)

(通話料: 有料)

03-6830-1855

受付時間: 365日 9:00 ~ 20:00

(FAX)

(有料)

03-3258-0470

- ・「東芝 DVD インフォメーションセンター」は株式会社東芝 デジタルプロダクツ & サービス社が運営しております。
- ・お客様の個人情報は、「東芝個人情報保護方針」に従い適切な保護を実施しています。
- ・お客様からご提供いただいた個人情報は、ご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・東芝グループ会社または協力会社に対応させていただくことが適切と判断される場合に、お客様の個人情報を提供することがあります。



愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダー 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際
このような症状は
ありませんか？

- ・再生しても音や映像が出ない。
- ・煙が出たり、異常なおいや音がする。
- ・水や異物がはいった。
- ・ディスクが傷ついたり、取り出しができない。
- ・電源コード、プラグが異常に熱くなる。
- ・その他の異常や故障がある。

ご使用
中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。ご自分での修理は危険ですので、絶対に行しないでください。

©2013 Toshiba Corporation
無断複製および転載を禁ず

株式会社 **東芝**

デジタルプロダクツ & サービス社

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

*所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

EAS11JH / EAP11JH / EAS10JH / EAP10JH

2VMN00072A ★★★★★

Printed in China



* 2 V M N 0 0 0 7 2 A *